

津別町国民健康保険

保健事業実施計画
(データヘルス計画)

—平成 30～35 年度—

平成30年3月

津 別 町

目次

第1章 データヘルス計画の概要	3
1 データヘルス計画の背景	3
2 データヘルス計画の概要	3
第2章 津別町の現状とこれまでの取り組み	6
1 人口構造	6
2 これまでの取り組み	8
第3章 健康・医療情報の分析と課題の把握	13
1 平均寿命・健康寿命と死亡の状況	13
2 健診データの分析	15
3 医療費分析	30
4 レセプト分析による疾病構造の把握	32
5 介護との関連	38
第4章 健康課題の明確化と目的・目標	42
1 現状の健康課題と改善に向けた行動目標	42
第5章 保健事業の検討と評価指標	44
1 行動目標の達成に向けた対策の方向性	44
2 行動目標に対応した具体的な事業内容	44
3 数値目標・評価指標	47
第6章 評価・見直し	49
1 評価時期	49
2 評価方法	49
第7章 計画の公表、個人情報の保護	51
1 計画の公表・周知	51
2 個人情報の保護	51

各種分析データは、国保中央会が管理する「医療レセプト」「特定健診」「介護保険」情報の分析ツールである「国保データベース(KDB)システム」から出力される数値に基づいており、データ算出方法の違いにより国保事業年報及び特定健診法定報告の数値と一致しない場合があります。

第1章 データヘルス計画の概要

第1章 データヘルス計画の概要

1 データヘルス計画の背景

日本の総人口に占める65歳以上人口の割合(高齢化率)は年々増加し、平成26年には 27.1% (総務省「人口推計」(平成28年7月1日現在 確定値))と世界トップの水準になっています。一般的に高齢化が進行すると生活習慣病を始めとした疾病の増加が見込まれ、健康的な生活を維持するうえで大きなリスク要因となっています。

国民の健康な生活を維持することを目的に平成25年6月14日に閣議決定された「日本再興戦略」では、重要施策として“国民の健康寿命の延伸”を掲げています。これを実現するために国民健康保険団体連合会に集約されている、国保データベースシステム※(以下「KDBシステム」という。)の分析、それに基づく加入者の健康保持増進のための保健事業実施計画(データヘルス計画)の作成・公表、事業実施、評価等の取組を推進することとしています。

津別町においても、生活習慣病や疾病予防、健康増進に向けて、特定健診やがん検診の実施など、さまざまな保健事業を実施してきました。今後は、限られた財源を有効活用するために、KDBシステムを活用し、すでに健康リスクを保有し重症化予防が必要な方々への「ハイリスクアプローチ※2」と、生活習慣病予備群など潜在的なリスクを抱える方々への「ポピュレーションアプローチ※3」など、それぞれの状況に応じて有効な事業を展開することが求められています。

これらの状況を踏まえ、津別町においてもデータヘルス計画を作成し活用することで、各種保健事業を効果的かつ効率的に実施し、被保険者の疾病予防や健康増進、ひいては長期的な医療費の適正化に取り組んでいくものとします。

2 データヘルス計画の概要

(1) 目的

データヘルス計画の目的として、以下の点が挙げられます。

- KDBシステムをはじめとした様々なデータを活用した分析を行い、現状や取り組みの成果を数値として把握することで、保健事業の実効性を高めていくこと
- PDCAサイクルに沿った事業運営を実施することで、継続的に改善する仕組みを取り入れること

(2) 他の施策や計画との関連付け

データヘルス計画は、以下の施策や計画との整合性を図るものとします。

- 第5次津別町総合計画(平成22年度～平成31年度)
- 第7期津別町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画(平成30年度～平成32年度)
- 第2次津別町健康づくり計画(平成25年度～平成34年度)
- 第3期津別町特定健康診査等実施計画(平成30年度～平成35年度)

(3) 対象期間

平成30年度から平成35年度(6年間)

※1 国保データベース(KDB)システム…国保中央会が管理する「医療レセプト」「特定健診・特定保健指導」「介護保険」等に係る情報を利活用し、統計情報等を保険者向けに提供するシステム。

※2 ハイリスクアプローチ…疾患を発生しやすい高いリスクを持った人を対象に絞り込んで対処していく方法

※3 ポピュレーションアプローチ…対象を一部に限定せず、集団全体へアプローチすることで全体としてリスクを下げる方法

(4) 計画の進め方

データヘルス計画の実施に当たっては、事業を継続的に改善する仕組みであるPDCAサイクルに沿った運営に取り組みます。

PDCAサイクルとは①計画(Plan)②実施(Do)③評価(Check)④改善(Action)の手順を繰り返し実施する仕組みのことです。

① 計画(Plan)

これまでに実施した保健事業の振り返りとデータ分析を通じて現状を把握し、分析することで健康課題を明確にし、改善するための事業を計画します。

② 実施(Do)

計画した事業をより効果的・効率的に実施します。

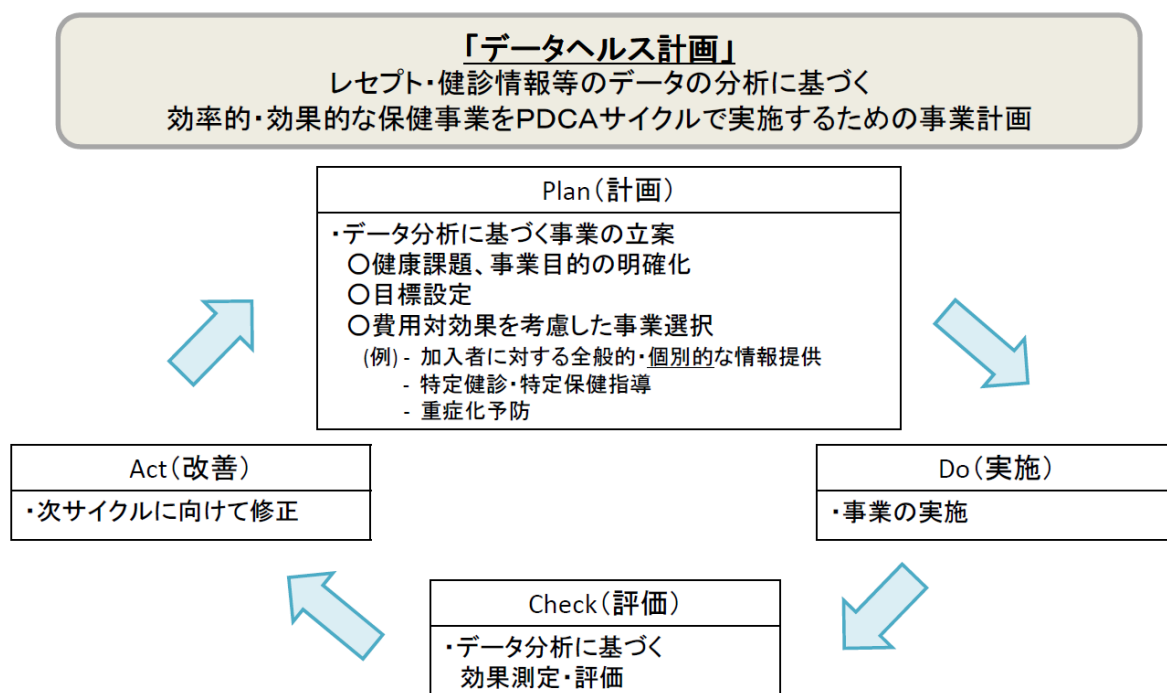
③ 評価(Check)

当初想定した事業運営が実施されているかどうかを、予め設定した数値目標を測定することで評価します。

④ 改善(Action)

評価結果に基づいて事業を見直し、改善を図ります。

図1 PDCAサイクル概要



第2章 津別町の現状とこれまでの取り組み

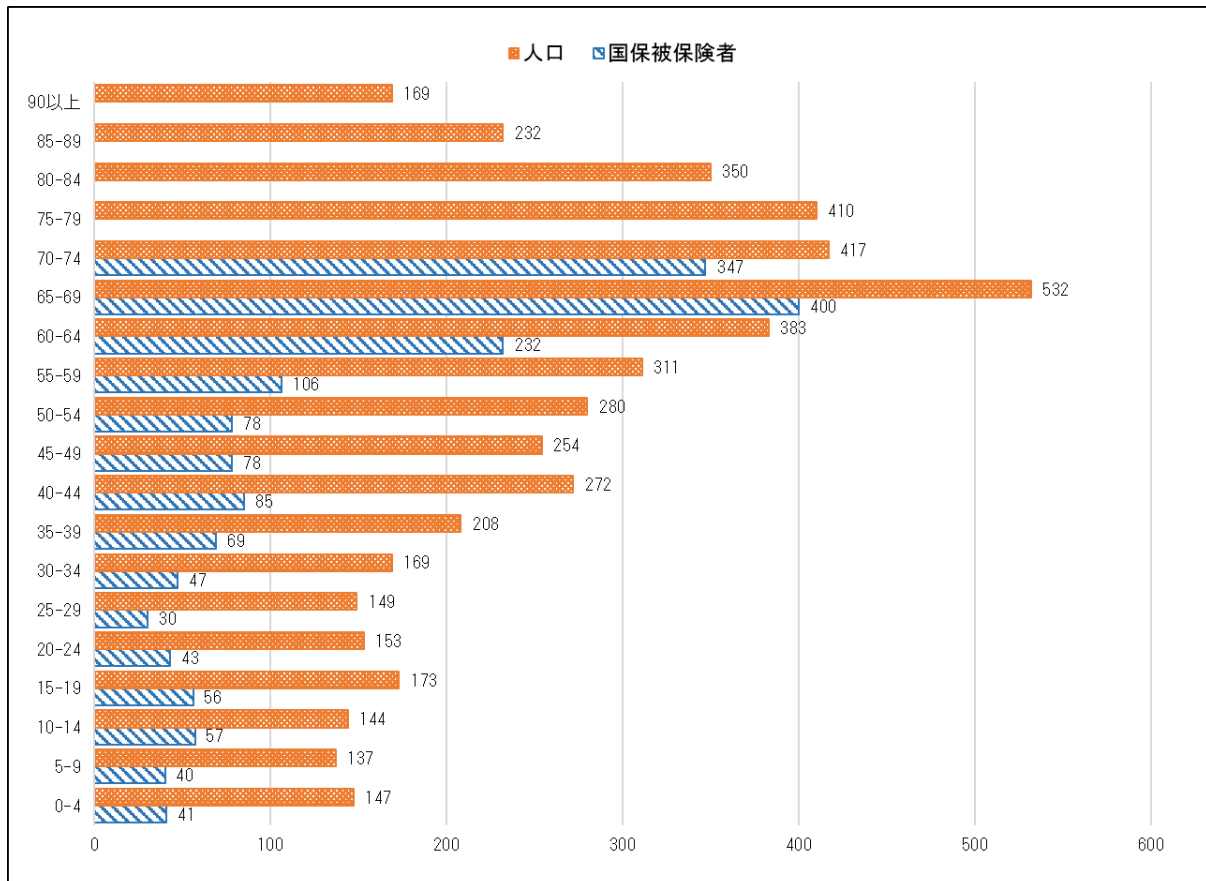
第2章 津別町の現状とこれまでの取り組み

1 人口構造

(1) 被保険者の状況(平成29年3月現在)

平成29年3月現在、人口4,881人、65歳以上の高齢者人口は2,110人、高齢化率が43.2%となっています。

国保被保険者は全体で1,709人、65歳以上の被保険者は746人、高齢化率(国保)が43.7%となっています。

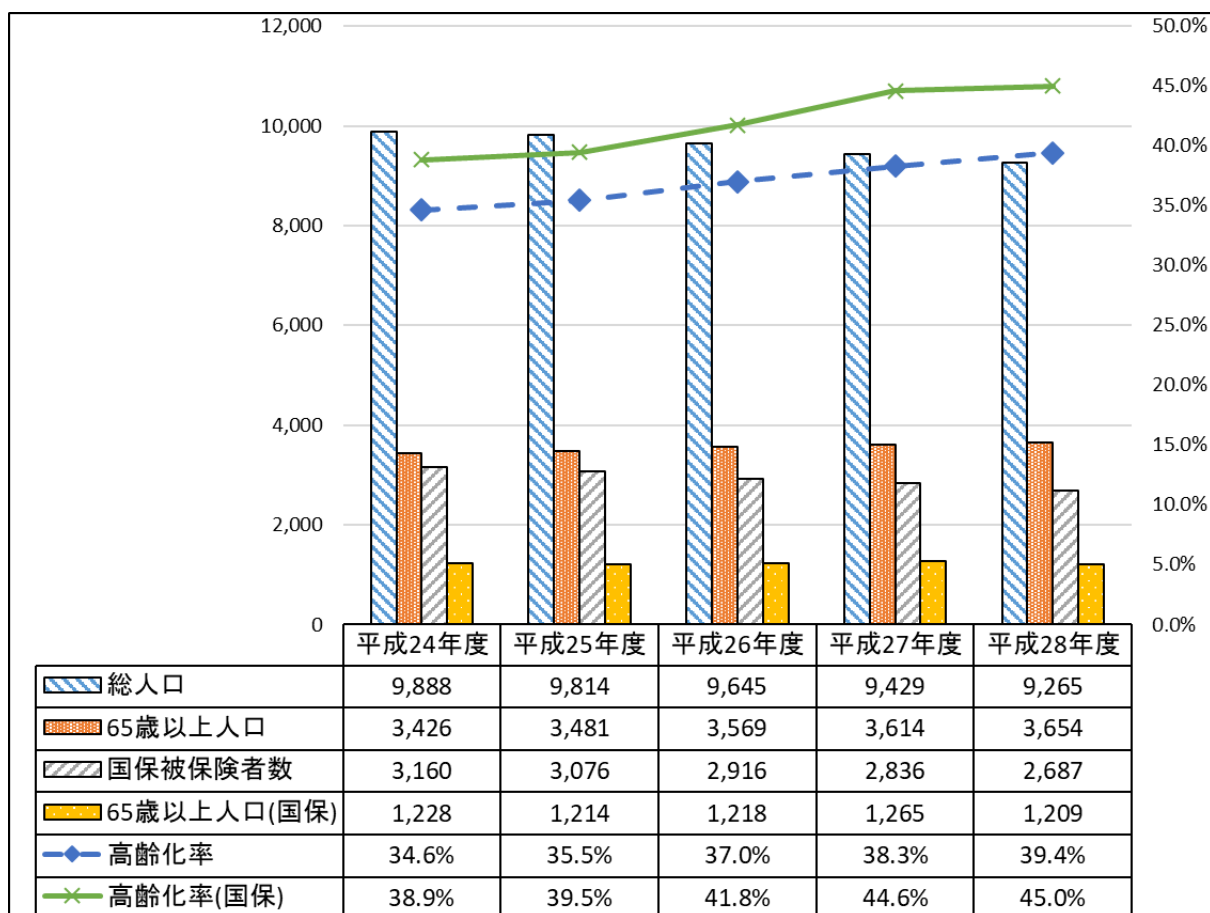


(2) 過去5年間の人口・高齢化率の推移(平成24年度～平成28年度)

総人口及び国保被保険者数ともに、減少傾向が続いています。

また、高齢化率を見ると総人口及び国保被保険者ともに上昇傾向を示しており、少子高齢化が確実に進行しています。

今後の見通しについても、引き続き人口減少と高齢化率の上昇が続くものと予測されています。



2 これまでの取り組み

津別町では平成22年度に策定した「第5次津別町総合計画」に基づき、町民一人ひとりが健康寿命を伸ばし、生涯にわたっていきいきと暮らせるよう取り組みとともに、「第2次津別町健康づくり計画」に基づき、健全な生活習慣の確立に向けた地域ぐるみの健康づくり活動の促進、健康診査・指導等の充実、母子保健の充実など、体系的な保健サービスを推進しています。

さらに、国民健康保険者として、平成20年度より義務付けられている特定健診・特定保健指導の実施率の向上に向けた取り組みや、各種がん検診の実施、健康教育、健康相談等の充実に努めています。

今後、更なる保健事業の推進を図るために、データヘルス計画では、KDBシステムに集約された情報を分析し、課題を明確にすることで、効率的かつ効果的な保健事業の推進に取り組む必要があります。

(1) これまでに実施した取り組みの一覧(平成28年度)

① 特定健診・特定保健指導

平成20年度より実施している特定健診・特定保健指導は、保健事業の中核に位置付けられており、被保険者における生活習慣病有病者及びその予備群の減少と健康の増進を図るため、今後も更なる実施率の向上に向けた取り組みが求められます。

これまでも年2回の集団健診及び通年で受診できる個別健診の機会の設定や、がん検診と併せての実施など受診しやすい環境整備に取り組むとともに、受診結果をわかりやすく説明する場として健診結果説明会を実施するなど、フォローアップに努めてきました。

また、健診結果説明会は初回の特定保健指導の場として位置付けられており、不参加者への個別のフォローアップが求められています。さらに、未受診者対策として広報物の配布を実施してきましたが、更なる受診率の向上のためには、生活習慣病のリスク軽減に向けた特定健診及び特定保健指導の有効性について、引き続き理解を求めていくことが重要です。

事業名	事業の目的および概要	振り返り		
		実施状況 ※実績値、主な成果、等	成功・推進要因	課題及び阻害要因
特定健診	【目的】 生活習慣病の早期発見・早期治療 【概要】 実施委託機関： <集団健診> 札幌商工診療所（7月、10月） ※がん検診（胃・肺・大腸・前立腺・乳・子宮頸がん）と併用実施 <個別健診> 網走厚生病院（通年）、田中医院（通年）、津別病院（通年）	対象者数：1,195人 受診者数：302人 実施率：25.3%	町独自に30歳国保被保険者も対象としている。集団健診については、がん検診と併用実施しており、申し込みを電話のほか、QRコードやホームページからも可能としている。また、健診時間は朝6時から受け付けとし、日曜日も実施することで受診しやすい環境を整えている。	関心が低い未受診者の対策
2次健診	【目的】 生活習慣病の予防（特に糖尿病と虚血性疾患） 【概要】 特定健診において一定の基準に該当する者に対し、糖尿病検査または動脈硬化検査を実施。	対象者数：3名 受診者数：0名	町の健康課題として独自に平成18年度から実施している。	対象者は毎年同じ人が多く、原因としては、特定健診そのものの対象者が大きく変わらないことにある。また、糖尿病検査は、数年継続受診では同じような結果となるため過去に検査済の者は対象外としている。
特定保健指導	【目的】 生活習慣病の予防 【概要】 特定健診の結果「動機付け支援」または「積極的支援」に該当した者に対し、保健師（栄養士）が生活習慣を指導	対象者数：37人 受診者数：9人 実施率：24.3%	健診結果報告会を4日間実施しており、都合の悪い人には別日に面接や訪問を実施している。	初回面接は参加してくれるが継続に結びつかない。

② 人間ドック・がん検診

生活習慣病や悪性新生物の早期発見・早期治療を目的として、人間ドック及び胃がん・肺がん・

大腸がん・前立腺がんの検診、さらに子宮頸がん・乳がん検診を実施してきました。特定健診・特定保健指導と同様に、受診しやすい環境整備に取り組んできましたが、更なる実施率の向上のための取り組みが求められます。

事業名	事業の目的および概要	振り返り		
		実施状況 ※実績値、主な成果、等	成功・推進要因	課題及び阻害要因
簡易脳・心血管ドック助成事業	【目的】 脳、心疾患の早期発見、早期治療 【概要】 脳ドック：頸部X線撮影、頭部MRI、MRA検査、頸部MRA検査、頸部超音波検査 心血管ドック：CT検査、心電図、動脈検査、超音波検査	受診者数：90名 【内訳】 ・脳のみ：12名 ・心血管のみ：3名 ・脳・心血管：75名	集団健診以外での個別健診（特にがん検診）を1年間を通して受診できる環境が整えられている	受診時に受診券を提出しない場合は特定健診にならない
人間ドック	【目的】 生活習慣病、がんの早期発見・早期治療及び健診受診による健康管理 【概要】 実施委託医療機関：網走厚生病院 検診内容：特定健診、後期高齢者健診、30代生活習慣病健診、胃がん検診、肺がん検診、大腸がん検診、前立腺がん検診、子宮頸がん検診、乳がん検診、肝炎ウイルス検診、エキノコックス症検診	受診者数：53名	集団健診以外での個別健診（特にがん検診）を1年間を通して受診できる環境が整えられている	受診時に受診券を提出しない場合は特定健診にならない
がん検診	【目的】 がんの早期発見・早期治療 【概要】 胃がん検診：胃部X線間接撮影 肺がん検診：胸部X線間接撮影（一部、喀痰細胞診） 大腸がん検診：免疫学的便潜血法 前立腺がん検診：PSA検査	○胃がん検診 受診者数：210名 受診率：21.1% ○肺がん検診 受診者数：260名 受診率：26.2% ○大腸がん検診 受診者数：279名 受診率：26.5% ○前立腺がん検診 受診者数：127名	集団健診は朝6時より受け付けをし、日曜日にも実施しており、受診しやすい環境を整えている。また、町独自に40歳と61歳にはがん検診が無料となるクーポン券を配布している。	対象者に文書やハガキを個別に郵送して勧奨しているが、受診率がなかなか向上しない。40歳と61歳は無料クーポン券を配布しているが受診者が少ない。
子宮頸がん検診	【目的】 子宮頸がん、乳がんの早期発見・早期治療 【概要】 実施委託機関：札幌商工診療所、北見医師会、網走厚生病院 検診内容：子宮頸がん検診＝内診、細胞診、エコー 乳がん検診＝視触診、マンモグラフィ	受診者数：107名 受診率：24.7%	集団健診で実施の他、委託医療機関で個別検診を実施できるため受診できる環境が整えられている。	対象者に個別勧奨しているが、受診率がなかなか向上しない。40歳と61歳は無料クーポン券があるが受診者が少ない。
乳がん検診		受診者数：110名 受診率：34.2%		

③健康相談

心身の健康に関する個別の相談に応じ、必要な指導及び助言を行い、家庭における健康管理の向上に資することを目的として、各種健康相談を実施しています。町民の健康に対する意識改善に寄与していますが、より幅広い方々に利用してもらえる環境整備が求められています。

事業名	事業の目的および概要	振り返り		
		実施状況 ※実績値、主な成果、等	成功・推進要因	課題及び阻害要因
総合健康相談	【目的】 心身の健康に関する個別の相談に応じ、必要な指導及び助言を行う。 【概要】 相談希望があった際に対応する	個別相談：55件	—	—
健診結果相談会	【目的】 健診結果説明や保健指導を実施することで、生活習慣病の予防、改善を目指す 【概要】 健診結果の説明、医療機関受診勧奨・相談、特定保健指導初回面接、栄養指導	日程：4日間 利用者数：95名	4日間実施しており、9～17時の間で都合の良い時間帯に利用してもらえるよう環境を整えている。また、都合が悪い人は別日に実施または訪問や電話する	相談会で生活習慣病の改善を伝えるが、改善に至らない。
集団健康教育	【目的】 健康増進に関する正しい知識を普及する。 【概要】 老人クラブ、職域、学校等の団体の希望に応じて実施する。	7回実施（延べ200名受講）	希望に応じて柔軟に対応している。	希望がない団体にはなかなか健康教育ができない。
健康運動教室	【目的】 将来の介護を予防するための運動や食事について学習する。 【概要】 保健師、栄養士、外部講師（健康運動指導士）が参加者に対して講話と運動を実施する。	【参加者、平均年齢、回数】 40・50代夏：18人、49.4歳、7回 40・50代冬：14人、52.6歳、7回 60代対象：17人、65.1歳、6回	初回の参加者を優先し参加者を募集し、健康づくりに興味を持つ住民が参加する。運動開始前と終了後の体の違いを感じ、運動の大切さを実感されている	募集人数が30名だが人数が集まらない。また、教室終了後の運動継続につながらない。

④疾病予防

疾病予防や疾病の早期発見・早期治療を目的とした各種検査及びワクチン接種を実施してきました。様々な疾病に対応したメニューを用意していますが、若い世代などの利用が少なく、実施率があまり上がらない現状があります。地域が抱える健康課題に応じた重点的な改善の取組みが求められます。

事業名	事業の目的および概要	振り返り		
		実施状況 ※実績値、主な成果、等	成功・推進要因	課題及び阻害要因
肝炎ウイルス検査	【目的】 ウイルス性肝炎を引起すB型、C型肝炎ウイルスの感染の有無を確認する。 【概要】 今まで健診などで肝炎ウイルス検査をする機会がなかった人を対象に、採血でHBs抗原、HCV抗体を検査する。一部、HCV核酸増幅検査を実施する。	【個別勧奨メニュー対象者】 受診率：16.4% (40歳以上70歳以下で5歳刻みで過去に肝炎ウイルス検査を受けたことのない者) 【上記以外の受診者】 受診者数：15名 (41歳以上でこれまでに健診を受けていない者)	年2回実施している集団健診直前に個別勧奨メニュー対象者に勧奨のハガキを郵送した。	勧奨ハガキを継続して送付しているが受診者数が向上しない。
エキノコックス症検査	【目的】 エキノコックス症の感染の有無を確認する。 【概要】 集団健診の会場にて実施。過去の検査で異常なしとされた者で、その後5年以上検査を受けていない者に対して、採血にて検査する。	受診者数：39名	年2回実施している集団健診直前に個別勧奨メニュー対象者に勧奨のハガキを郵送した。	エキノコックスの関心が薄く、検査機会の認知度が低いと思われる。その結果受診者が少ない。
【定期予防接種】 B型肝炎 ヒブ 小児用肺炎球菌 四種混合 二種混合 BCG 麻しん風しん 水痘 日本脳炎 子宮頸がん	【目的】 各疾患の発症、重症化を予防する。 【概要】 予防接種法に基づく左記の定期予防接種を自己負担無料で接種できる。	接種者数・接種率 子宮頸がん予防ワクチン以外はほぼ100%近くの接種率 子宮頸がん予防ワクチン：0名	乳児期から接種する予防接種は新生児訪問等で、幼児期の予防接種は健診機会等で個別に説明していることで接種に繋がりがやすい。	子宮頸がん予防ワクチンは、対象者に個別通知しているが、副反応の情報が影響し接種率は0に近い状況が続いている。
【定期予防接種】 インフルエンザ (高齢者用)	【目的】 インフルエンザの発症、重症化を予防することで、要介護状態を防止し、健康寿命の延伸に寄与する。 【概要】 委託医療機関でインフルエンザワクチンを自己負担1,000円で接種できる。	接種者数 65歳以上：1,022名 60～64歳：1名 接種率 65歳以上：48.3% 60～64歳：33.3% ※接種率は前年度とほぼ同様	委託医療機関でインフルエンザワクチンを自己負担1,000円で接種できる(生活保護の方は無料)	特になし
【定期予防接種】 高齢者肺炎球菌	【目的】 肺炎球菌感染症の発症、重症化を予防することで、要介護状態を防止し、健康寿命の延伸に寄与する。 【概要】 65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳になる高齢者に対し、自己負担3,500円でワクチン接種できる。	接種者数 接種率 65歳：51名 46.8% 70歳：45名 49.5% 75歳：43名 53.0% 80歳：37名 44.0% 85歳：38名 51.4% 90歳：20名 46.5% 95歳：6名 35.3% 100歳以上：0名	対象者には郵送で個別通知しているため、接種に繋がりがやすい(生活保護の方は無料)	特になし
【任意予防接種】 ロタウイルス おたふくかぜ 水痘	【目的】 各疾患の発症、重症化を予防する。 【概要】 予防接種法に基づく左記の任意予防接種(ロタウイルス、おたふくかぜ)と、任意の時期となった水痘を自己負担無料で接種できる。	ほぼ100%近くの接種率	任意予防接種として通常は有料であるところが無料であるため接種しやすい。乳児期から接種する予防接種は新生児訪問等で、幼児期の予防接種は健診機会等で個別に説明していることで接種に繋がりがやすい。	特になし
【任意予防接種】 風疹予防接種	【目的】 妊娠を希望する女性及び、妊婦の配偶者に対し、風疹予防接種料金を助成することにより、妊婦の風疹感染症を予防し、安全に出産できるよう支援する。 【概要】 満19歳以上49歳未満の女性と妊婦の夫。(事前に風疹抗体検査(無料)を受けた結果、ワクチン接種が必要となった方) 料金：2,000円	接種者：3名	母子手帳交付時に説明している。事前に抗体検査(無料)を受けることで、必要な方のみ接種できる。	女性の場合、妊娠する前が対象となるため、その対象者への周知方法。
【任意予防接種】 インフルエンザ (子ども用)	【目的】 インフルエンザの蔓延と重症化を予防する。 【概要】 12歳以下：2回接種 13歳以上：1回接種 料金：1歳～中学生までは1,000円	○1歳～小学生 接種実数：1回目 171名 2回目 110名 接種率：56.4% (2回目終了36.3%) ○中学生 接種実数：42名 接種率：46.2%	1歳～中学生までは1,000円で接種できる。	乳幼児において、2回目まで接種する者は、1回目接種者の約半数に留まっている。

⑤介護予防

高齢者が介護の必要な状態に陥り、更に状態が悪化しないよう介護予防を推進するとともに、自立した生活を確保することができるよう必要な支援を行うため、各種事業に取り組んできました。多様な日常生活上の支援体制の充実・強化及び高齢者の社会参加の推進に一体的に取り組んできた結果、多くの事業で参加者の増加、介護予防に対する理解促進につなげることができました。

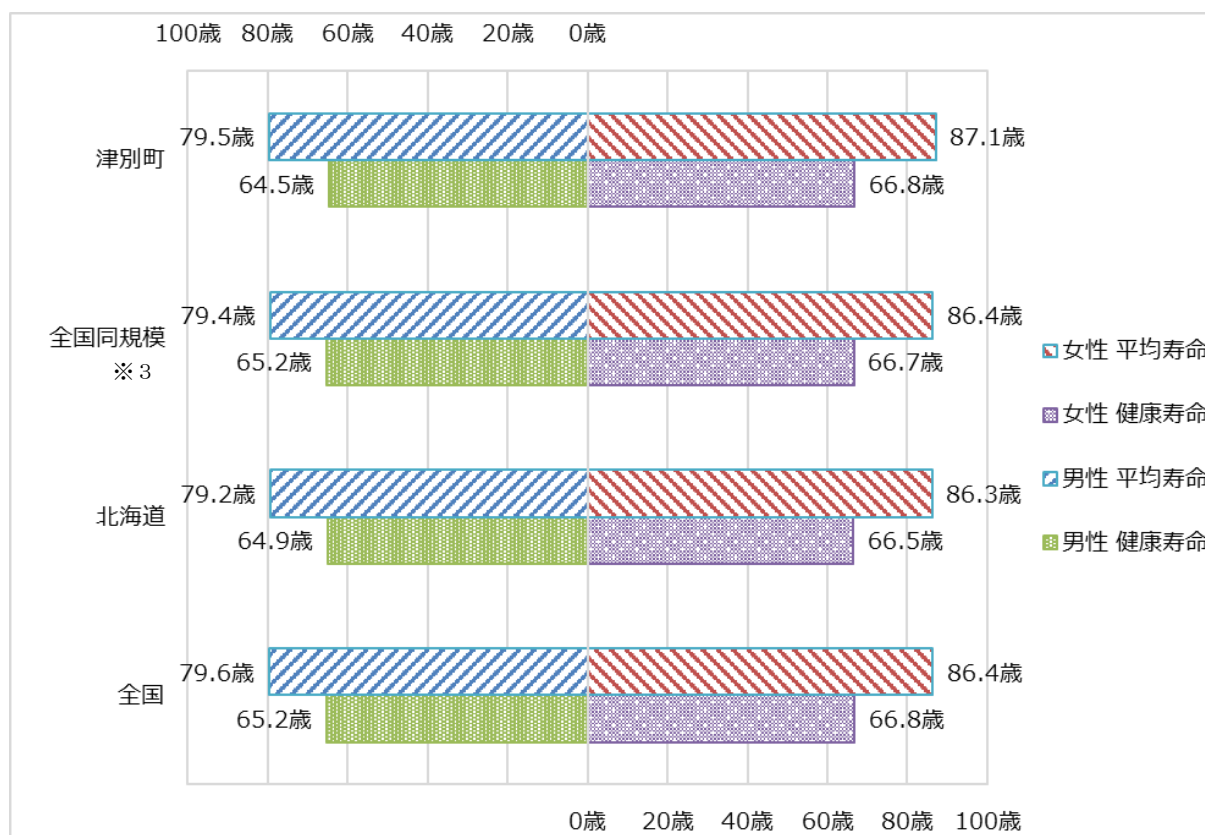
事業名	事業の目的および概要	振り返り		
		実施状況 ※実績値、主な成果、等	成功・推進要因	課題及び阻害要因
健康教育（高齢者団体）	【目的】 高齢期においても自ら健康づくり、介護予防活動に積極参加できるよう、知識の向上と住民活動の推進を目指す。 【概要】 町内の高齢者関係団体、介護予防や認知症等に関する内容について依頼があった団体に対し講話等を行う。	自治会や老人クラブ等の各団体からの依頼に応じて実施した。内容は依頼に基づき決定したが、特に要望がない場合はこちらが伝えたいテーマを設定した。 参加者：延192名 実施回数：11回	テーマとしては介護予防につながるものを多く設定し関心を持っていただくことができた。	依頼者や団体が固定化している状況である。自治会毎の敬老会からの依頼が減少している。
健康相談（高齢者）	【目的】 心身の健康に関する相談に応じ、必要な指導や助言を行い、家庭における健康管理や介護予防に資する。 【概要】 相談日は設けず、訪問や電話等個別対応の他、介護予防教室や各事業の参加者からも随時相談を受けている。	個別の健康相談は随時対応し、訪問や電話相談の他、転倒予防教室や各事業の参加者からも相談を受け対応した。集団の健康相談では、健康教育の機会に併せて実施した。 個別相談：延695名 集団相談：0団体	相談日を設けていないことで、タイムリーに対応できる。	相談窓口について、係の存在を知って頂くこと。支援が必要な状況になって初めて、相談窓口や制度について関心が高まる状況である。
転倒予防教室	【目的】 高齢者の筋力やバランス力の維持・向上を図る。自分に合った運動や体操を日常生活に取り入れ実践できる。 【概要】 ・対象者：町内在住の65歳以上の者で、腰や膝に痛みがあり歩行や立ち上がり動作に支障がある者。または、基本チェックリストで「運動器機能向上支援」が必要と判断される者。 ・スタッフ：外部運動指導士、町内スポーツ推進委員、町職員 ・評価：体力測定結果（前後比較）、終了時アンケートなどにより行う。	将来的な要介護状態へ移行を予防する事を目的に、室内でできる筋力アップ体操をプログラムとした。 参加人数： 前期 14名 延165名 後期 16名 延180名 実施回数： 前期 14回 後期 14回 内容：体力測定、講話、室内の運動（筋力アップ、ストレッチ、ラダーウオーキングなど）	下肢筋力低下や膝・腰の痛みをもつ者を対象としていることから、転倒の既往や筋力低下や痛みにより日常生活への支障のある者が例年多い。教室内での体力測定では数値が向上、膝や腰の痛みも軽減、教室で習得した体操を自宅で実施している者も多く、本教室の効果が見えた。	9割がリピーターで、参加者が拡大しないことが課題。
ふれあいサロン事業	【目的】 同世代又は地域内の仲間づくりの場や、外出の機会を通し、孤独感や引きこもりの解消につなげる。 地域住民の交流を通して、健康で生き生きとした生活の実現を図る。 【概要】 原則65歳以上の町民（交流又は活動の支援で、65歳未満の町民の参加も可能）月1回以上の実施。内容は地域の実情に応じた時間やプログラムとする。	事業実施については、津別町社会福祉協議会に委託。団体数は増加。運動を中心とした運動サロンも開催。 登録団体：9か所 開催回数：計123回 ふれあいサロン月1回 運動サロン月2回 参加人数：延2,252名	自治会単位で開催している「ふれあいサロン」は、住民同士のつながりの中で実施出来ている。モデル地区で実施した「運動サロン」については、「徒歩圏内の身近な場所」で月2回運動を実施し、体力測定や参加者の声からは一定の効果を得られた。	サロンを運営する地域の実情により、活動支援に大きな差がある。毎回支援員の派遣が必要なサロンでは、プログラムの内容が他と比べ手厚い等の差が出たり、住民の役割参加意識が薄い等、課題がある。
介護予防いきいきポイント事業	【目的】 高齢者等が地域におけるボランティア活動を通じて、社会参加及び生きがいがつくりができる。 【概要】 要介護又は要支援認定を受けていない40歳以上の町民が、事前研修を終了し登録の後参加できる。指定施設が希望する内容についてボランティア活動を行う。30分以上1時間未満を1ポイントとし、10ポイント以上で商品券に換券可能。	事業実施については、津別町社会福祉協議会に委託。事前およびフォロー研修会：2回開催 研修受講者：延62名 登録者：100名 ボランティア実施人数：延80名	社協登録のボランティアが固定・高齢化し、活動の活性化が難しかったが、今回の制度開始によって、新たな人材の発掘に繋がった。	当初の計画として、ボランティア先が施設や関係事業、要援護者家庭等に定められており、ボランティア内容についても、限定されている。ボランティア内容が偏る傾向がある。
通所型介護予防事業 ミズナラ倶楽部	【目的】 主に事業対象者相当の高齢者が教室参加により機能改善が図られ、要介護状態への移行を防ぐ。 【概要】 町内小学校の余裕教室を会場に、臨時職員2名で事業に従事。週1回、最大10名の定員まで登録可能。 軽運動や手工芸・脳トレ等の介護予防に資するプログラムとする。	男女別3クラス、各週1回開催 軽運動・レク・脳トレ・バス旅行等、介護予防に資する内容。外部講師による運動指導と体力測定の実施 実参加人数：21名 延参加人数：600名 開催回数：年間143回	継続参加者の様子から身体機能の低下は僅かであり、ミズナラ倶楽部が機能維持の役割を果たしている。参加者の中には指導された運動を、家庭で継続している者もあり、介護予防の動機付けになっている。	教室が卒業制では無い為、参加者の高齢化が著しい。（平均年齢85.9歳）平成28年度は2名が介護保険を申請した。

第3章 健康・医療情報の分析と課題の把握

第3章 健康・医療情報の分析と課題の把握

1 平均寿命・健康寿命と死亡の状況

(1) 平均寿命※1・健康寿命※2(平成28年度)



項目	男性			女性		
	平均寿命	健康寿命	差	平均寿命	健康寿命	差
津別町	79.5歳	64.5歳	15.0歳	87.1歳	66.8歳	20.3歳
全国同規模	79.4歳	65.2歳	14.2歳	86.4歳	66.7歳	19.7歳
北海道	79.2歳	64.9歳	14.3歳	86.3歳	66.5歳	19.8歳
全国	79.6歳	65.2歳	14.4歳	86.4歳	66.8歳	19.6歳

出典:KDBシステム「地域の全体像の把握」

平均寿命について、男性は79.5歳で全国平均と比較して0.1歳短くなっており、女性は87.1歳で全国平均と比較して0.7歳長くなっています。一方、健康寿命についてみると、全国平均と比較して男性が0.8歳短くなっており、女性は全国平均と同水準となっています。

平均寿命と健康寿命の差についてみると、男性は15.1歳で全国平均と比較して0.7歳大きく、女性は20.3歳で全国平均より0.7歳大きくなっています。平均寿命と健康寿命の差が大きいということは、医療や介護が必要な期間が長いということであり、医療費や介護給付費の負担増につながると考えられます。

※1 平均寿命…死亡率が今後も変わらないと仮定し、その年に生まれた0歳児があと何年生きられるかを表しています。

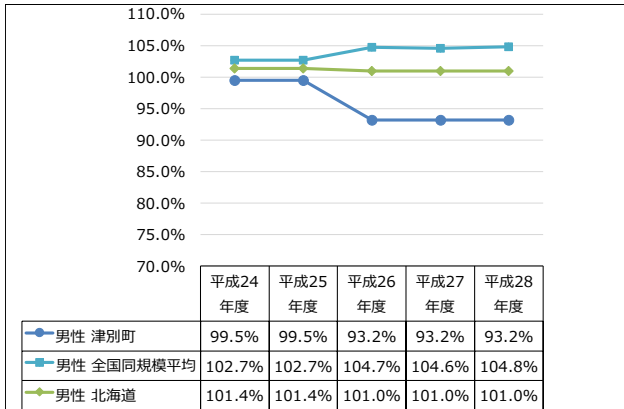
※2 健康寿命…日常的・継続的な医療・介護に依存せず、自立した生活ができる生存期間のことをいいます。

※3 全国同規模…全国の自治体のうち人口5,000～10,000人の町村の平均値です。

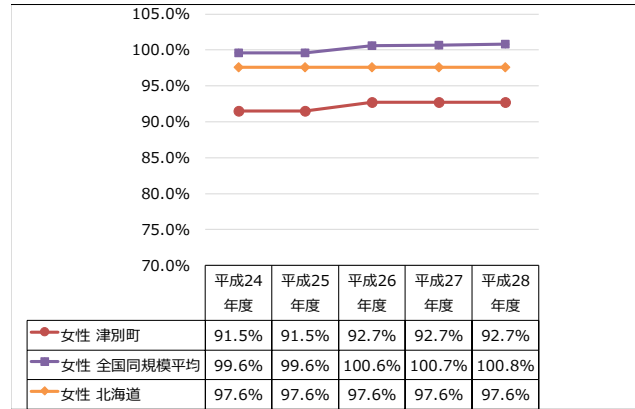
(2) 死亡の状況

① 標準化死亡比※4(平成24年度～平成28年度)

<男性>

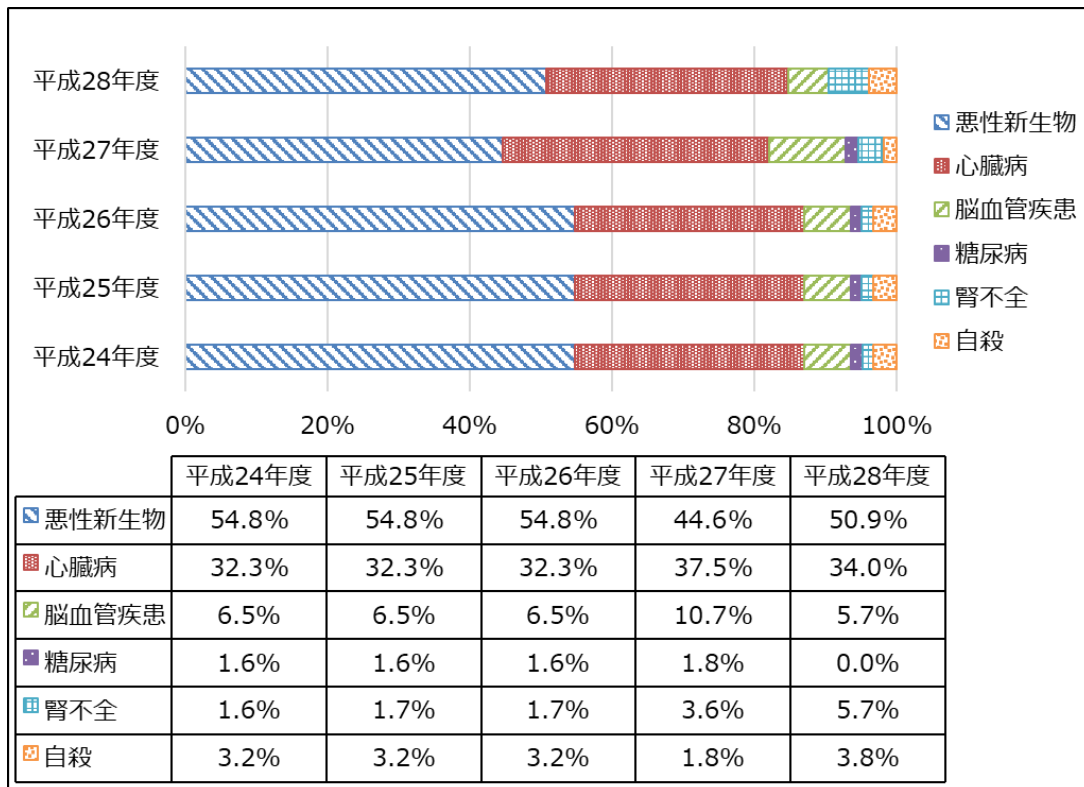


<女性>



出典:KDBシステム「地域の全体像の把握」

② 死因別割合(平成24年度～平成28年度)



出典:KDBシステム「地域の全体像の把握」

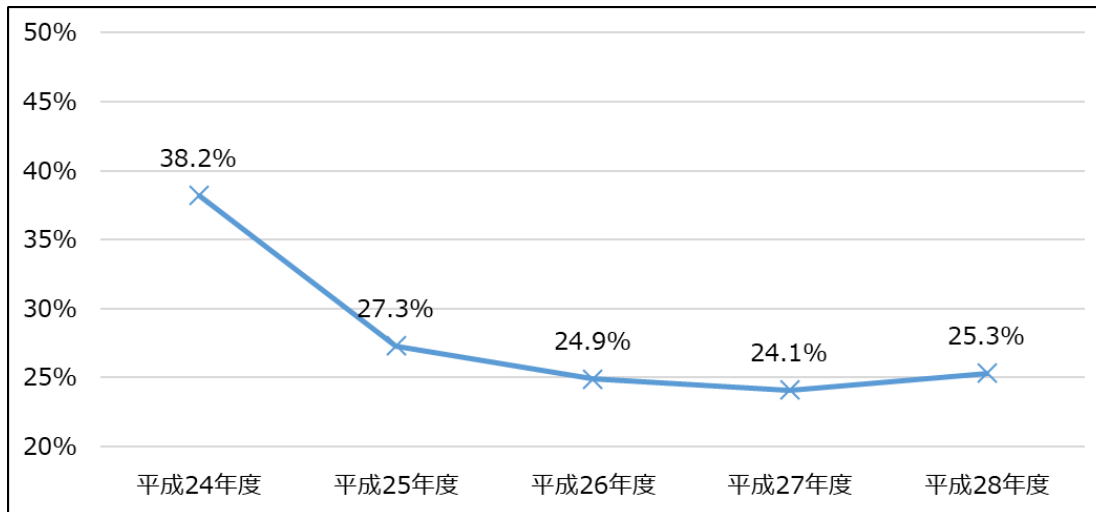
標準化死亡率を見ると男女ともに全国基準値を下回って推移しています。

死因別割合を見ると、「悪性新生物」が主要な死因となっていることがわかります。年度ごとに多少のばらつきはありますが、全体の構成割合に大きな変化はみられませんでした。

※4 標準化死亡比(英語: Standardized Mortality Ratio 略:SMR)…基準死亡率(人口10万対の死亡数)を対象地域に当てはめた場合に計算により求められる期待される死亡数と、実際に観察された死亡数とを比較するもの。全国平均を100としているので、標準化死亡比が100以上の場合には「平均より死亡率が多い」と判断されます。

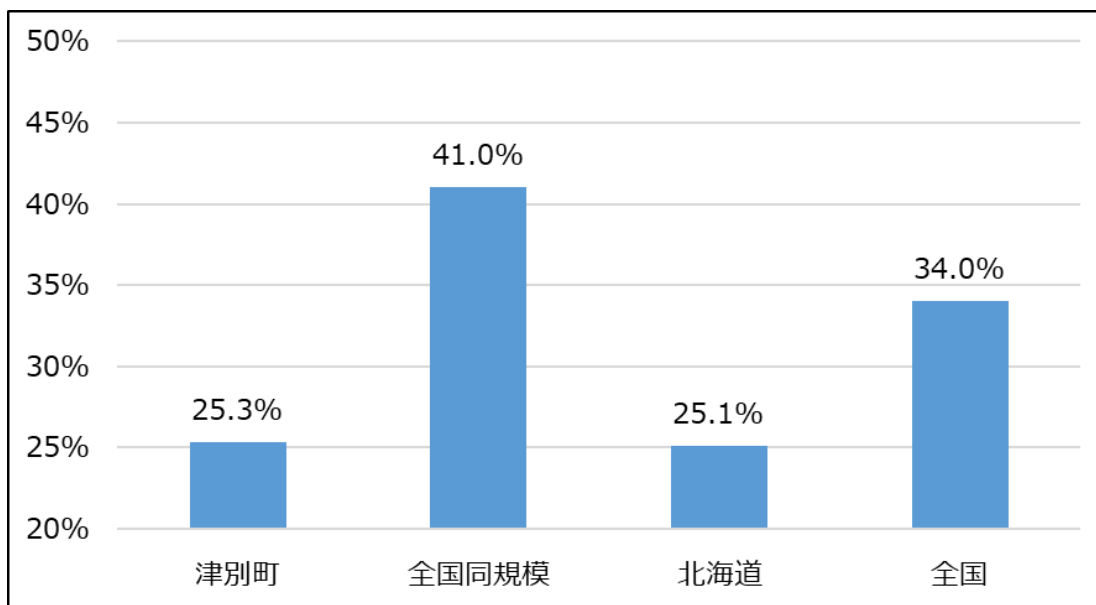
2 健診データの分析

(1) 特定健診受診率の推移(平成24年度～平成28年度)



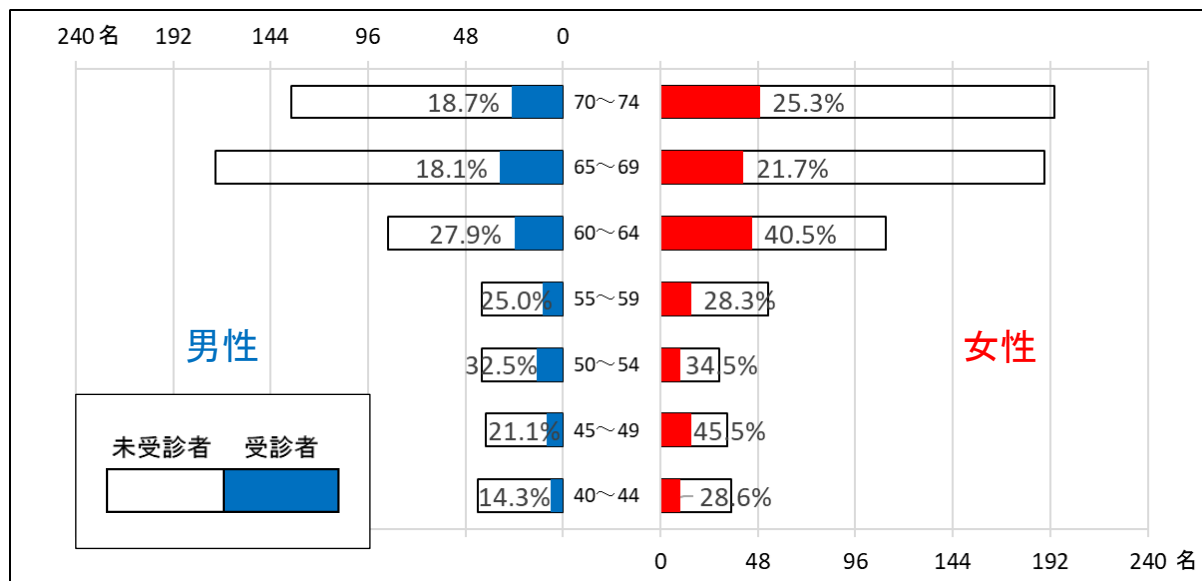
出典:KDBシステム「地域の全体像の把握」

(2) 受診率の比較(平成28年度)



出典:KDBシステム「地域の全体像の把握」

(3) 性別・年齢階層別受診状況(平成28年度)



出典:KDBシステム「厚生労働省書式(様式6-9)健診受診状況(被保険者数及び健診受診者のピラミッド)」

特定健診の受診率に関する状況を見ると、平成28年度は25.3%となっており、全国平均よりも受診率が低くなっています。また、過去の受診率の経過を見ても、平成24年度をピークに低下傾向が続いています。

受診の性別・年代別に見ると、男女ともに若年齢層だけでなく高年齢層でも受診率が低いことが見てとれます。

生活習慣病の予防・早期発見・重症化予防の観点から、特定健診の受診率の改善が喫緊の課題といえます。

【参考】未受診の理由(平成28年度未受診者アンケート結果より)

特定健診を受診しない理由について、複数回答で伺いました。

一番多かったのは「通院中だから」と答えた人が28名(42.4%)で、次に「他の医療機関・健診機関で受けているから」と答えた人が21名(31.8%)となっています。

また、「面倒くさいから」と答えた人が11名(16.7%)、「健康だから」と答えた人が10名(15.2%)と続いています。

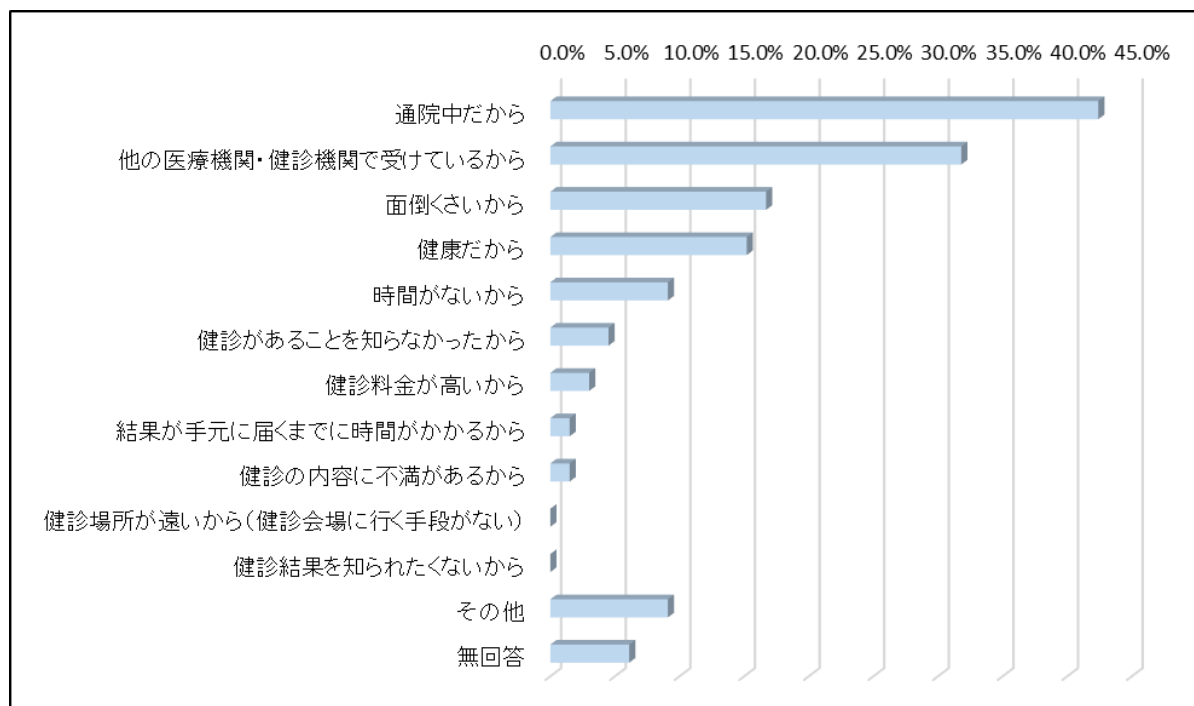
「面倒」「健康だから」と答えた人達には、健診受診の必要性を周知し、自己の健康管理意識を高めてもらう対応が必要と思われます。

<設問>

特定健診を受けていない方のみお答え下さい。

特定健診を受診しない理由は何ですか？(あてはまるもの全てに○)

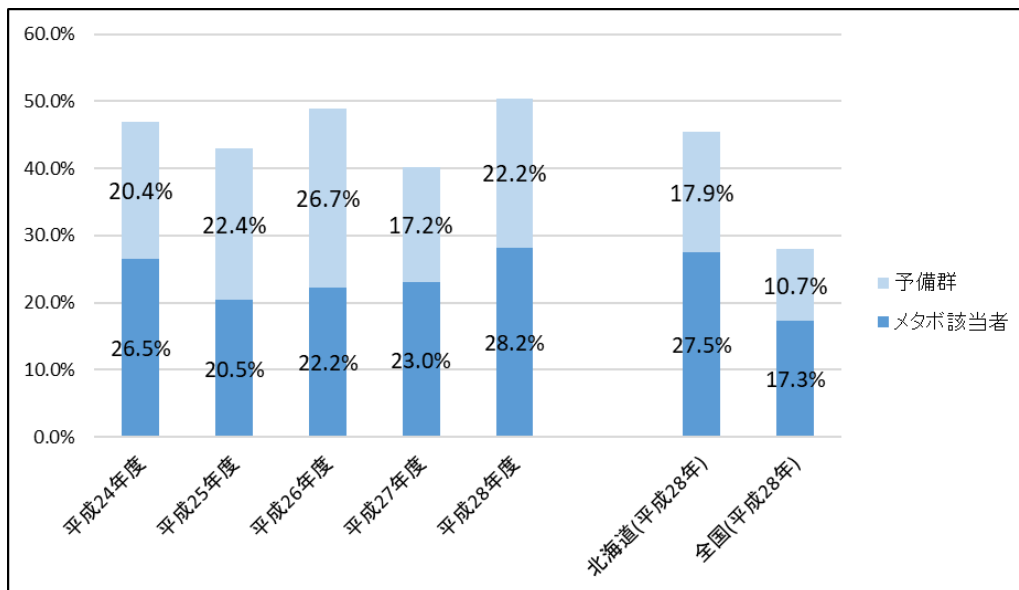
項 目	対象者数	割 合
通院中だから	28	42.4%
他の医療機関・健診機関で受けているから	21	31.8%
面倒くさいから	11	16.7%
健康だから	10	15.2%
時間がないから	6	9.1%
健診があることを知らなかったから	3	4.5%
健診料金が高いから	2	3.0%
結果が手元に届くまでに時間がかかるから	1	1.5%
健診の内容に不満があるから	1	1.5%
健診場所が遠いから(健診会場に行く手段がない)	0	0.0%
健診結果を知られたくないから	0	0.0%
その他	6	9.1%
無回答	4	6.1%
回答権利数	66	-



(4) 有所見状況(平成24年度～平成28年度)

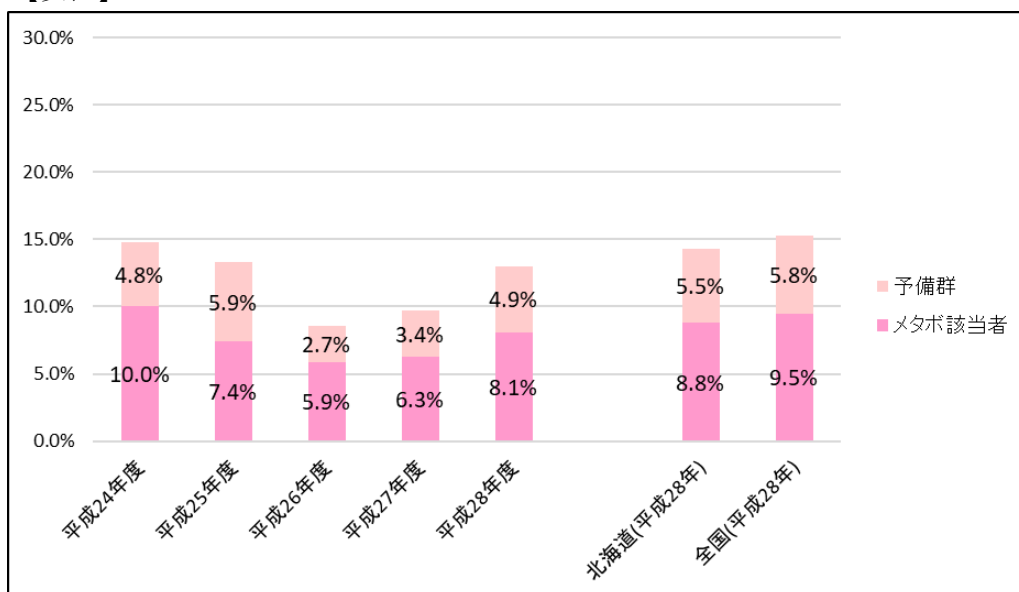
① メタボリックシンドローム判定

【男性】



出典:KDBシステム「地域の全体像の把握」

【女性】



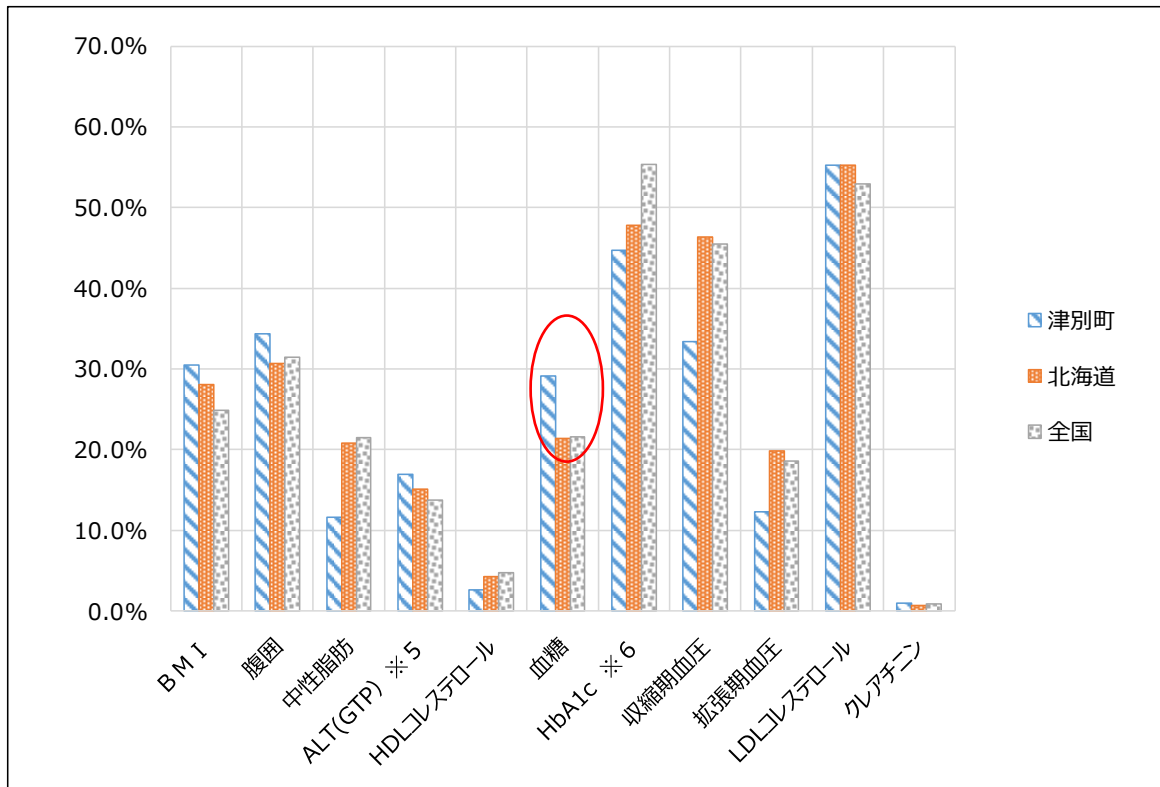
出典:KDBシステム「地域の全体像の把握」

メタボリックシンドローム判定を見ると、メタボ基準の該当者割合は、男性は全国平均を上回っており、女性は全国平均とほぼ同等か下回っています。

過去の推移を見ると、該当者割合がやや減少傾向にありましたが、直近の平成28年度では増加傾向に転じています。

② 健診項目別有所見割合(平成28年度)

<総計>



項目	津別町		北海道	全国
	人数	割合	割合	割合
BMI	92人	30.5%	28.1%	24.9%
腹囲	104人	34.4%	30.7%	31.5%
中性脂肪	35人	11.6%	20.8%	21.5%
ALT(GTP) ※5	51人	16.9%	15.1%	13.8%
HDLコレステロール	8人	2.6%	4.3%	4.8%
血糖	88人	29.1%	21.4%	21.6%
HbA1c ※6	135人	44.7%	47.8%	55.4%
収縮期血圧	101人	33.4%	46.4%	45.5%
拡張期血圧	37人	12.3%	19.8%	18.6%
LDLコレステロール	167人	55.3%	55.3%	52.9%
クレアチニン	3人	1.0%	0.7%	0.9%

出典:KDBシステム「厚生労働省様式(6-2~7)健診有所見者状況(男女別・年代別)」

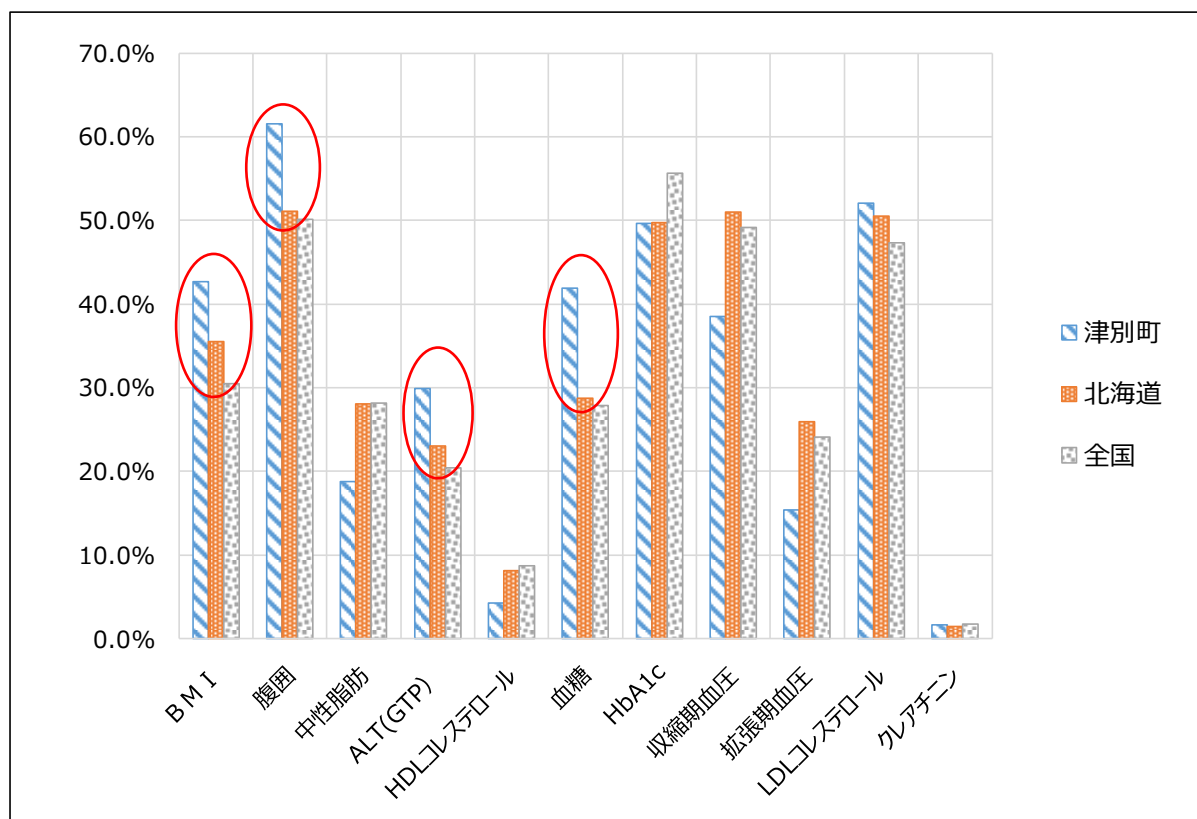
健診項目別有所見割合を見ると、特に「血糖」が全国平均を大きく上回っています。

また、「BMI」「腹囲」「ALT(GTP)」「LDLコレステロール」「クレアチニン」の項目は、やや全国平均を上回っています。

※5 ALT(GTP)…アラニントランスアミナーゼ(グルタミン酸ピルビン酸転移酵素)の略であり、肝機能の指標の一つです。脂肪肝や慢性肝炎等の疾病により、肝臓の細胞が障害を受けると数値が上昇します。

※6 HbA1c(ヘモグロビン・エーワンシー)…赤血球中のヘモグロビンのうちどれくらいの割合が糖と結合しているかを示す検査値です。過去1-2ヶ月の血糖値の平均を反映して上下するため、血糖コントロール状態の目安となります。

<男性>



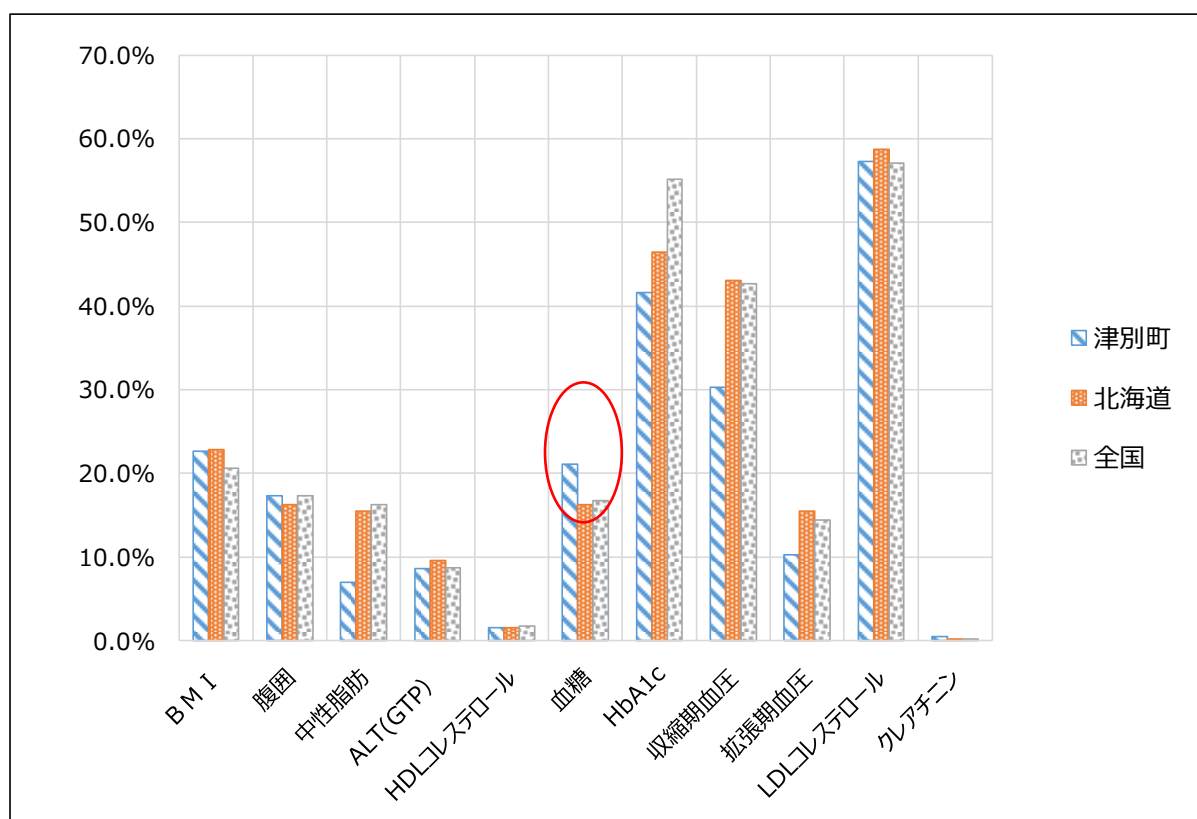
項目	津別町		北海道	全国
	人数	割合	割合	割合
BMI	50人	42.7%	35.5%	30.5%
腹囲	72人	61.5%	51.1%	50.1%
中性脂肪	22人	18.8%	28.1%	28.2%
ALT(GTP)	35人	29.9%	23.0%	20.4%
HDLコレステロール	5人	4.3%	8.1%	8.7%
血糖	49人	41.9%	28.7%	27.9%
HbA1c	58人	49.6%	49.7%	55.6%
収縮期血圧	45人	38.5%	51.0%	49.2%
拡張期血圧	18人	15.4%	25.9%	24.1%
LDLコレステロール	61人	52.1%	50.5%	47.3%
クレアチニン	2人	1.7%	1.5%	1.8%

出典:KDBシステム「厚生労働省様式(6-2~7)健診有所見者状況(男女別・年代別)」

健診項目別有所見割合(男性)を見ると、やや有所見割合が高い項目が散見され、「BMI」「腹囲」「ALT(GTP)」「血糖」の有所見割合が、全国平均を上回っています。

一方で、「中性脂肪」「HDLコレステロール」「収縮期血圧」「拡張期血圧」の項目は、全国平均を下回っており、良好な結果が得られています。

<女性>

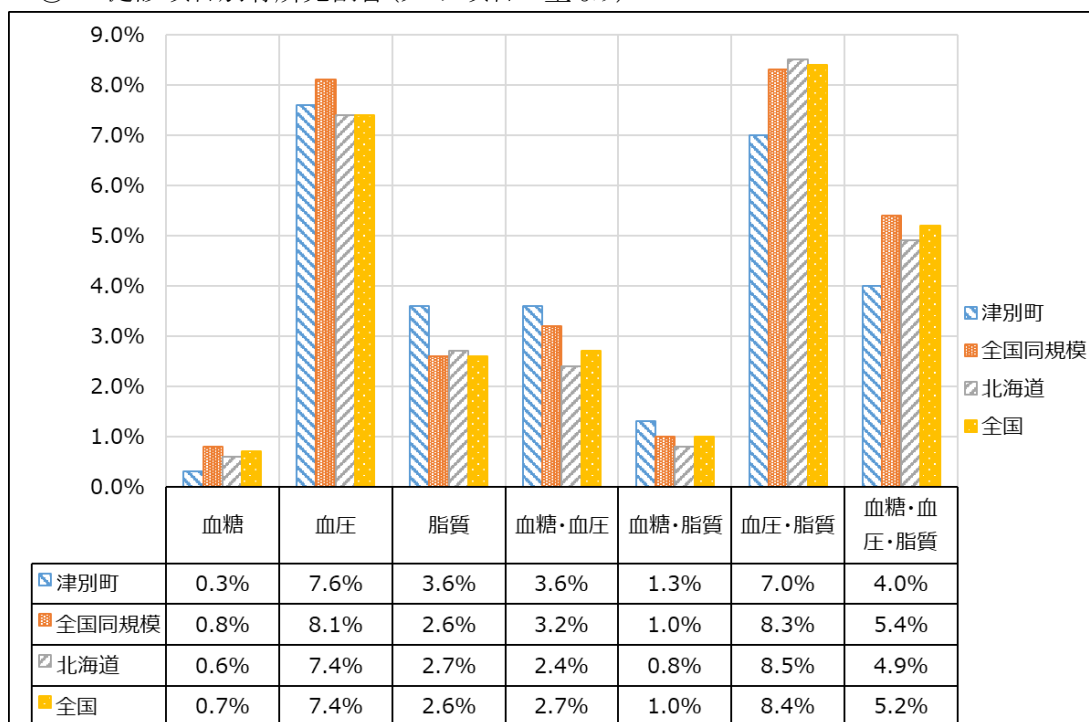


項目	津別町		北海道	全国
	人数	割合	割合	割合
BMI	42人	22.7%	22.8%	20.6%
腹囲	32人	17.3%	16.3%	17.3%
中性脂肪	13人	7.0%	15.5%	16.3%
ALT(GTP)	16人	8.6%	9.6%	8.7%
HDLコレステロール	3人	1.6%	1.6%	1.8%
血糖	39人	21.1%	16.3%	16.8%
HbA1c	77人	41.6%	46.5%	55.2%
収縮期血圧	56人	30.3%	43.1%	42.7%
拡張期血圧	19人	10.3%	15.5%	14.4%
LDLコレステロール	106人	57.3%	58.7%	57.1%
クレアチニン	1人	0.5%	0.2%	0.2%

出典:KDBシステム「厚生労働省様式(6-2~7)健診有所見者状況(男女別・年代別)」

健診項目別有所見割合(女性)を見ると、「血糖」がやや全国平均を上回っていますが、全体的に全国平均を下回っており、良好な結果が得られています。

③ 健診項目別有所見割合(リスク項目の重なり)



出典:KDBシステム「地域の全体像の把握」

算出式: 該当者※ ÷ 健診受診者 × 100

健診項目別有所見割合(リスク項目の重なり)を見ると、「血糖・血圧」「血糖・脂質」の有所見割合は全国平均を上回っています。一方で「血圧・脂質」「血糖・血圧・脂質」は全国平均を下回っています。

※該当者について

○血糖…健診受診者のうち、①②③のいずれかを満たす場合に該当

①空腹時血糖 ≥ 110

②空腹時血糖の結果値がない場合、

HbA1c ≥ 5.5 (年度 < 2013 :平成24年度受診分)

HbA1c ≥ 6.0 (年度 ≥ 2013 :平成25年度以降受診分)

③服薬(血糖)あり、かつ、メタボ該当またはメタボ予備軍のうち、内臓脂肪面積 ≥ 100

※内臓脂肪面積の結果値がない場合は、男性腹囲 ≥ 85 、女性 ≥ 90

○血圧…健診受診者のうち、④⑤⑥のいずれかを満たす場合に該当

④収縮期血圧 ≥ 130

⑤拡張期血圧 ≥ 85

⑥服薬(血圧)あり、かつ、メタボ該当またはメタボ予備軍のうち、内臓脂肪面積 ≥ 100

※内臓脂肪面積の結果値がない場合は、男性腹囲 ≥ 85 、女性 ≥ 90

○脂質…健診受診者のうち、⑦⑧⑨のいずれかを満たす場合に該当

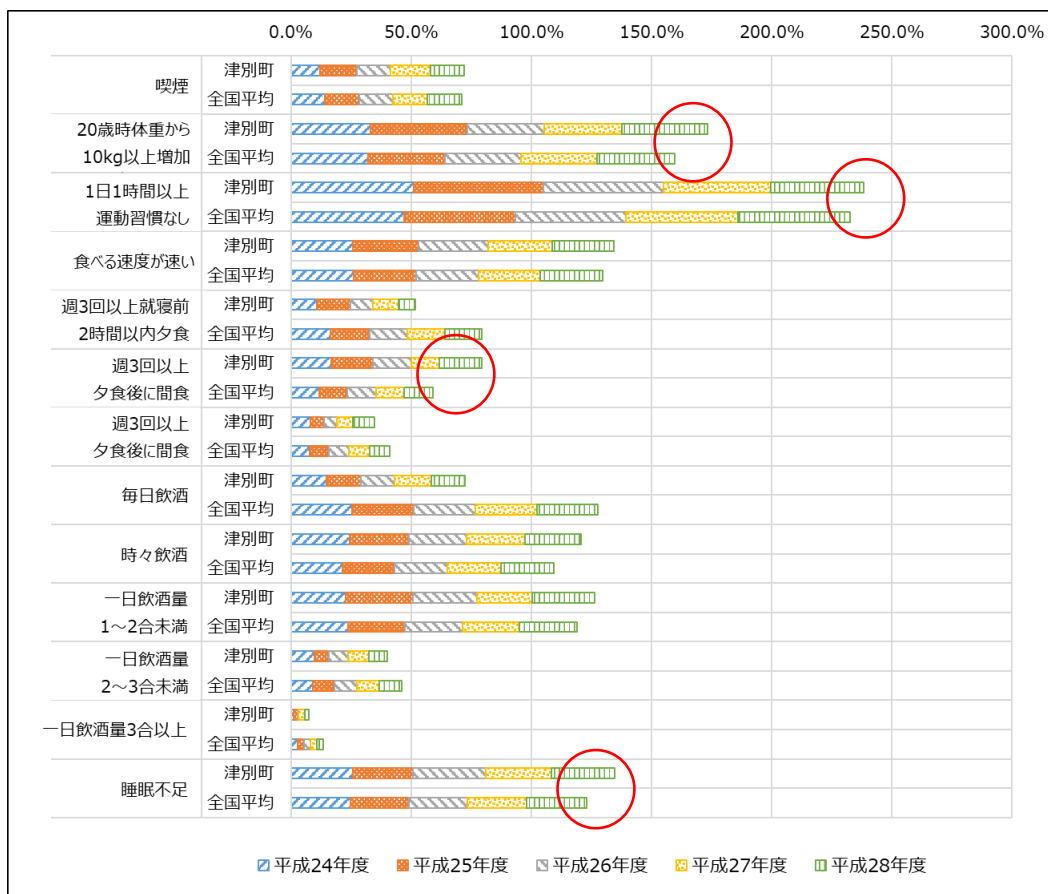
⑦中性脂肪 ≥ 150

⑧HDL < 40

⑨服薬(脂質)あり、かつ、メタボ該当またはメタボ予備軍のうち、内臓脂肪面積 ≥ 100

※内臓脂肪面積の結果値がない場合は、男性腹囲 ≥ 85 、女性 ≥ 90

(5) 生活習慣病データ(平成24年度～平成28年度)



項目		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
喫煙	津別町	12.1%	15.4%	14.0%	16.6%	13.9%
	全国平均	14.0%	14.3%	14.2%	14.3%	14.2%
20歳時体重から10kg以上増加	津別町	33.0%	40.2%	32.1%	32.4%	35.6%
	全国平均	32.1%	31.9%	31.7%	31.7%	32.1%
1日1時間以上運動習慣なし	津別町	51.1%	53.9%	49.8%	44.7%	38.6%
	全国平均	47.1%	46.2%	46.0%	46.5%	46.9%
食べる速度が速い	津別町	25.7%	27.4%	29.0%	26.5%	25.8%
	全国平均	26.1%	25.9%	25.9%	25.9%	25.9%
週3回以上就寝前2時間以内夕食	津別町	10.9%	14.0%	9.2%	10.5%	7.2%
	全国平均	16.3%	16.3%	15.9%	15.6%	15.4%
週3回以上夕食後に間食	津別町	16.8%	17.4%	16.0%	11.6%	17.4%
	全国平均	11.7%	11.8%	11.8%	11.9%	11.8%
週3回以上朝食を抜く	津別町	8.1%	5.6%	5.5%	6.5%	9.1%
	全国平均	7.6%	8.2%	8.4%	8.4%	8.5%
毎日飲酒	津別町	14.8%	14.3%	14.0%	15.3%	14.0%
	全国平均	25.4%	25.6%	25.6%	25.6%	25.6%
時々飲酒	津別町	24.5%	24.6%	24.0%	24.1%	23.5%
	全国平均	21.3%	21.8%	22.0%	22.1%	22.0%
一日飲酒量1～2合未満	津別町	22.8%	28.0%	26.5%	23.1%	25.8%
	全国平均	23.8%	23.7%	23.8%	23.8%	23.8%
一日飲酒量2～3合未満	津別町	9.8%	6.0%	7.8%	8.8%	7.5%
	全国平均	9.0%	9.2%	9.3%	9.3%	9.3%
一日飲酒量3合以上	津別町	1.2%	1.6%	0.4%	2.4%	1.7%
	全国平均	2.6%	2.7%	2.7%	2.7%	2.7%
睡眠不足	津別町	25.7%	25.0%	30.4%	27.3%	26.1%
	全国平均	24.6%	24.6%	24.1%	24.6%	25.0%

出典:KDBシステム「質問票調査の状況」

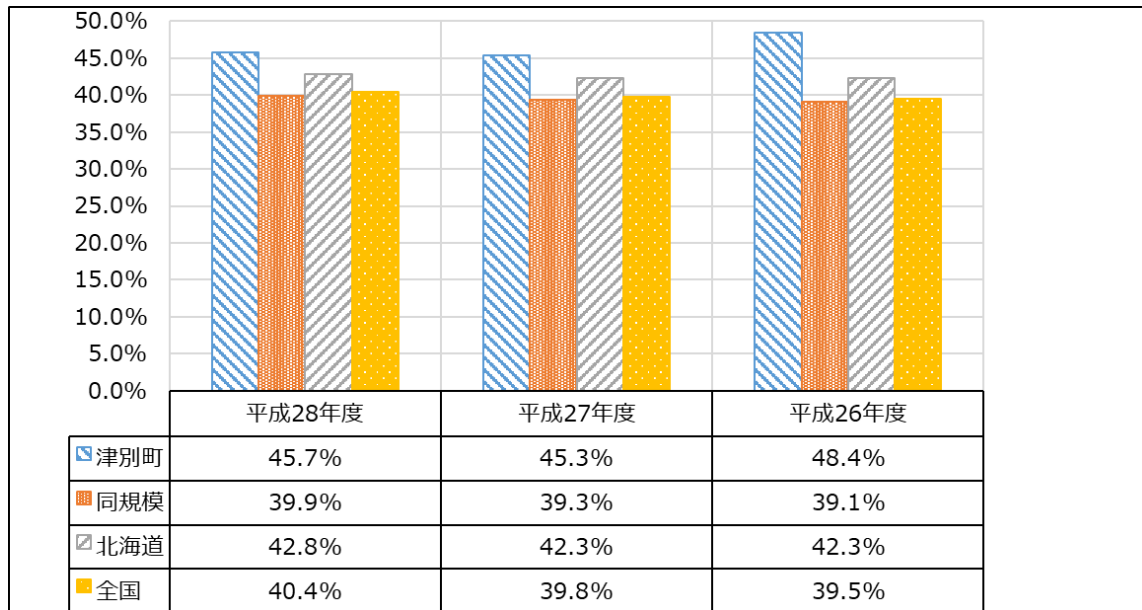
生活習慣病データ(平成24年度～平成28年度)では、年度ごとの数値のばらつきによる影響を無くすため、津別町と全国平均の過去5年間の結果を合計して比較しました。

改善を要する項目として挙げられるのが「20歳時体重から10kg以上増加」「1日1時間以上運動習慣なし」「週3回以上夕食後に間食」「睡眠不足」となっています。

なお、「時々飲酒」も全国平均を上回っていますが、飲酒に関するその他の項目がいずれも全国平均を下回るか、全国平均並みとなっていることから、飲酒に関する生活習慣全体としては大きな問題にはなっていないと考えられます。

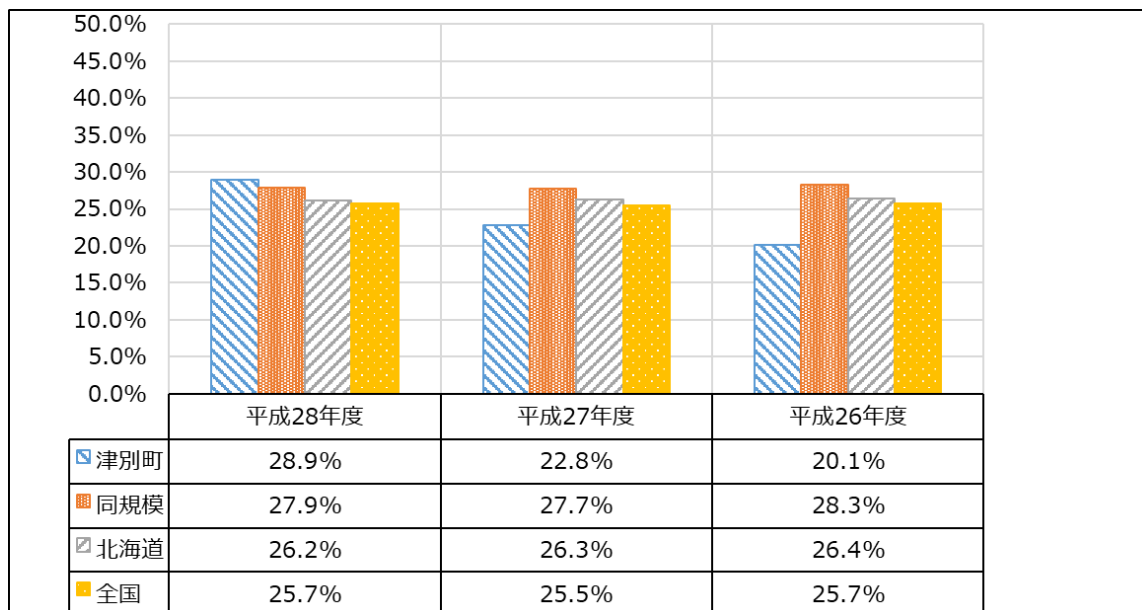
① 20歳時体重から10kg以上増加

<男性>



出典:KDBシステム「質問票調査の状況」

<女性>

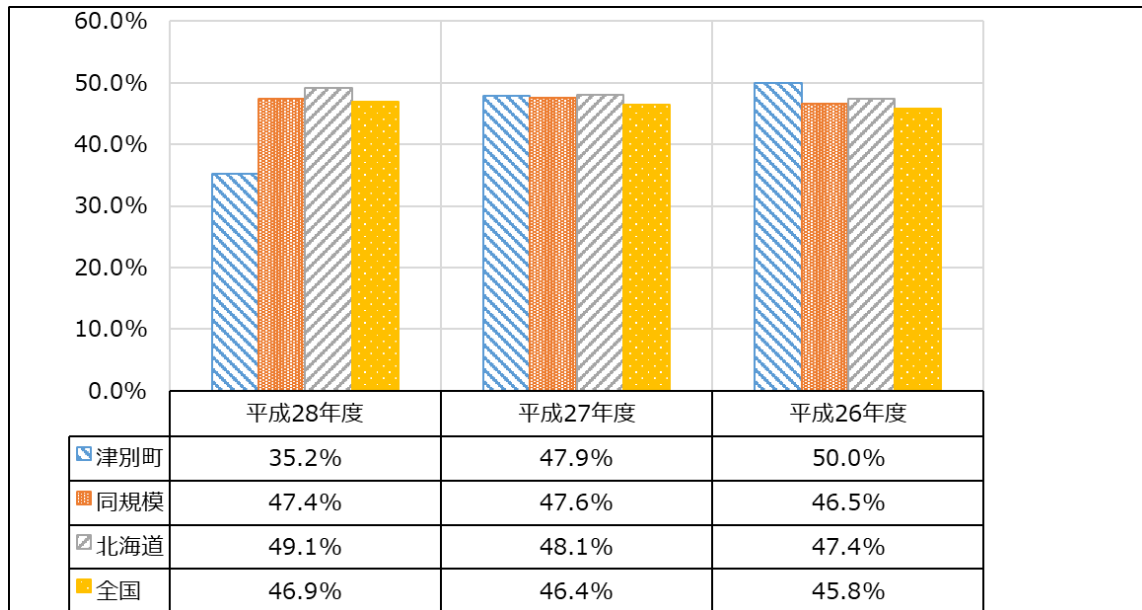


出典:KDBシステム「質問票調査の状況」

20歳時体重から10kg以上増加を見ると、平成28年度は男女ともに全国平均を上回っています。男性は過去3年連続で全国平均を上回っています。女性は平成27年度までは全国平均を下回っていましたが、平成28年度になって全国平均を上回ってきており、やや悪化傾向を示しています。

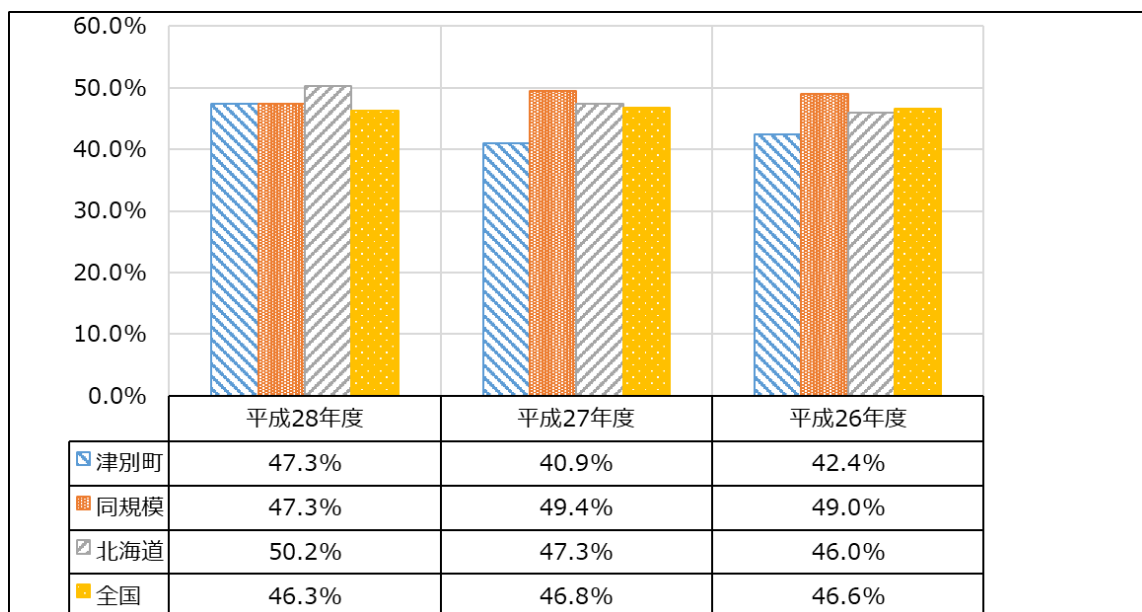
② 1日1時間以上運動習慣なし

<男性>



出典:KDBシステム「質問票調査の状況」

<女性>

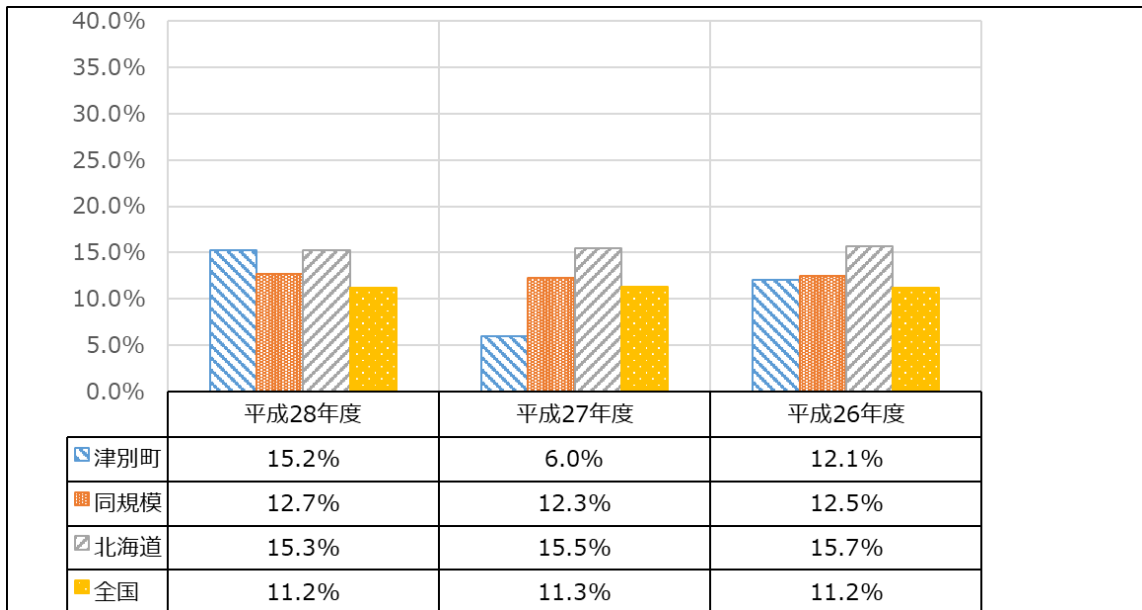


出典:KDBシステム「質問票調査の状況」

1日1時間以上運動習慣なしを見ると、過去3年間の調査結果はほぼ全国平均並みか下回って推移しています。特に平成28年度の男性の割合に改善が見られます。今後も引き続き運動習慣の定着が課題となっています。

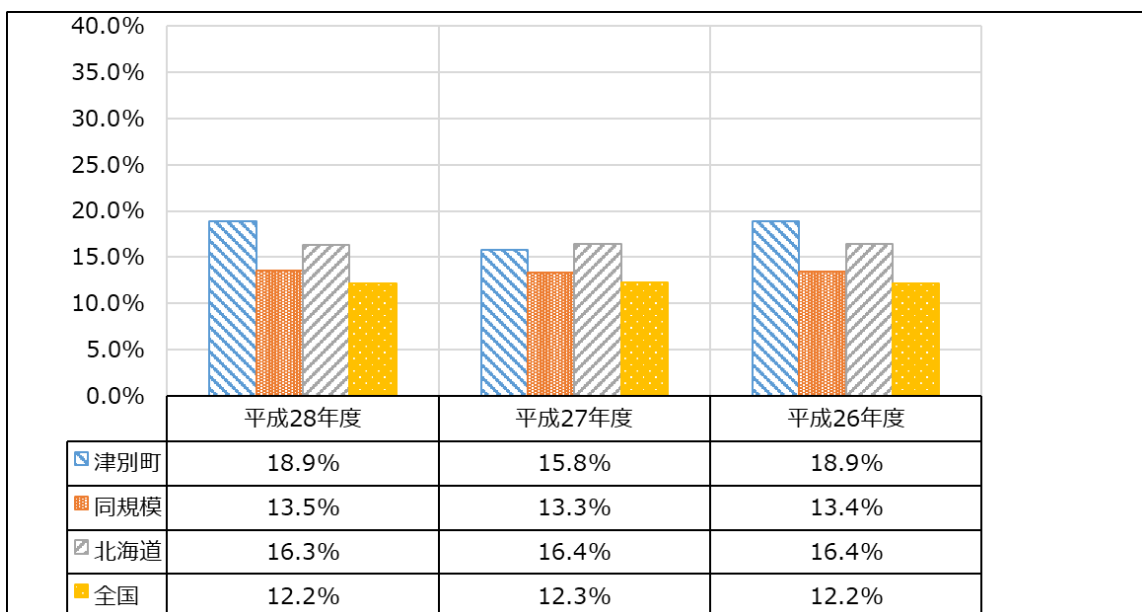
③ 週3回以上夕食後に間食

<男性>



出典:KDBシステム「質問票調査の状況」

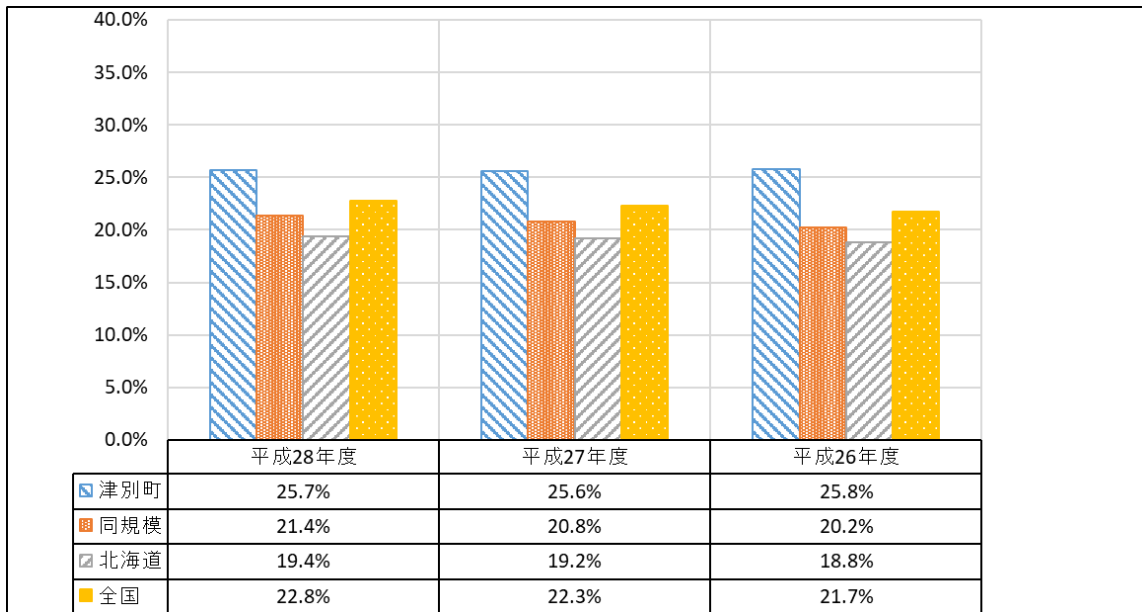
<女性>



出典:KDBシステム「質問票調査の状況」

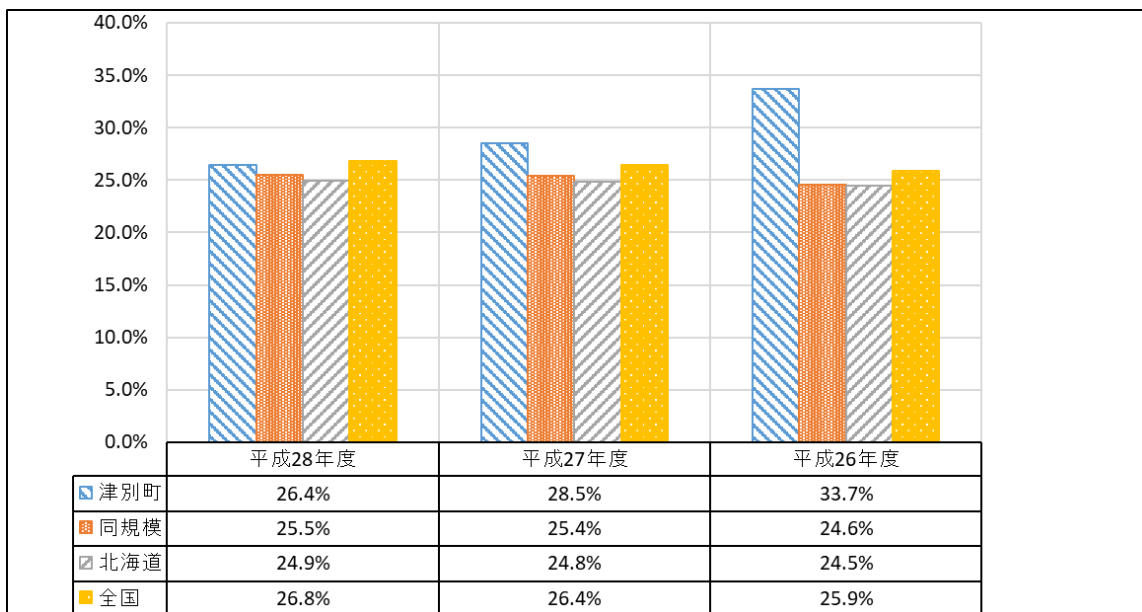
週3回以上夕食後に間食を見ると、平成28年度は男女ともに全国平均を上回っています。女性は過去3年連続で全国平均を上回っています。男性についても年度ごとにややばらつきが見られるものの全国平均を上回って推移しており、改善が必要な生活習慣といえます。

④ 睡眠不足
 <男性>



出典:KDBシステム「質問票調査の状況」

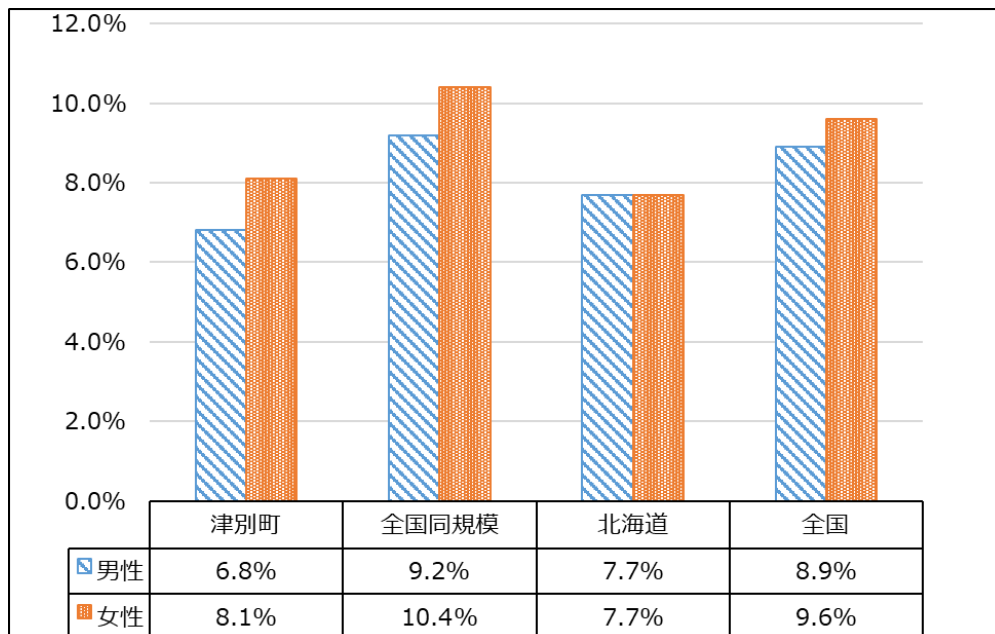
<女性>



出典:KDBシステム「質問票調査の状況」

睡眠不足を見ると、男女ともに全国平均を上回って推移しています。概ね全国平均を上回っていますが女性は低下傾向を示しており、平成28年度は若干ですが全国平均を下回っていることから、改善傾向にあるといえます。

(6) 非肥満型高血糖

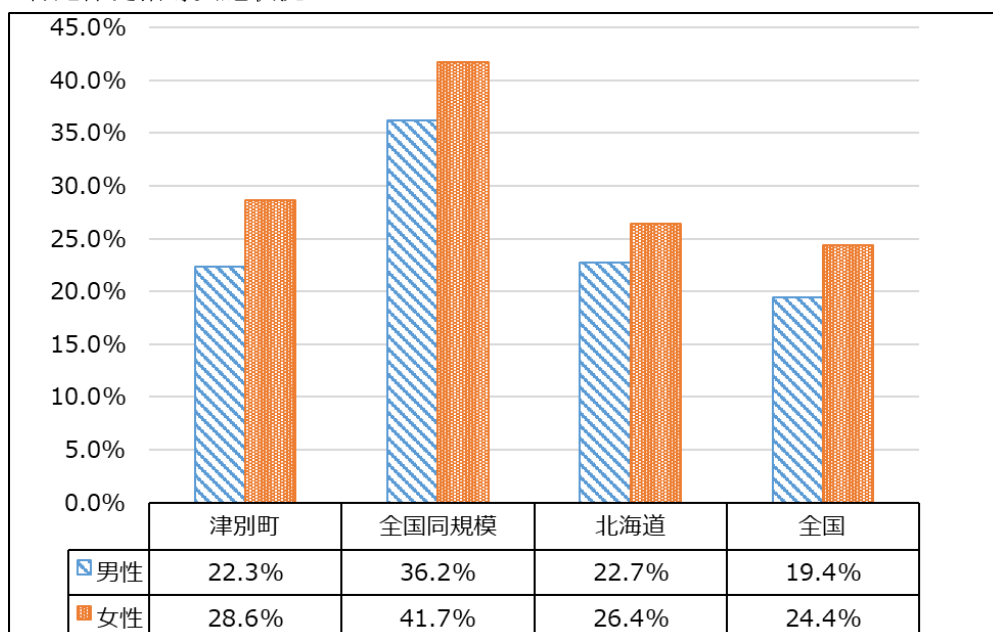


出典:KDBシステム「健診の状況」

非肥満型高血糖とは、「腹囲」および「BMI」が基準値内であり、「血糖」が基準値を超えている状態です。この状態に該当する方については、一定のリスクを保有しているにもかかわらず特定保健指導の対象者とならないため、注意が必要となります。

津別町においては、男女ともに全国平均を下回っており、良好な結果が得られています。

(7) 特定保健指導実施状況



出典:KDBシステム「健診の状況」

津別町における特定保健指導実施状況について見ると、男女ともに全国平均を上回っています。また、全国平均と同様に男性よりも女性の方が高い実施率になっています。

3 医療費分析

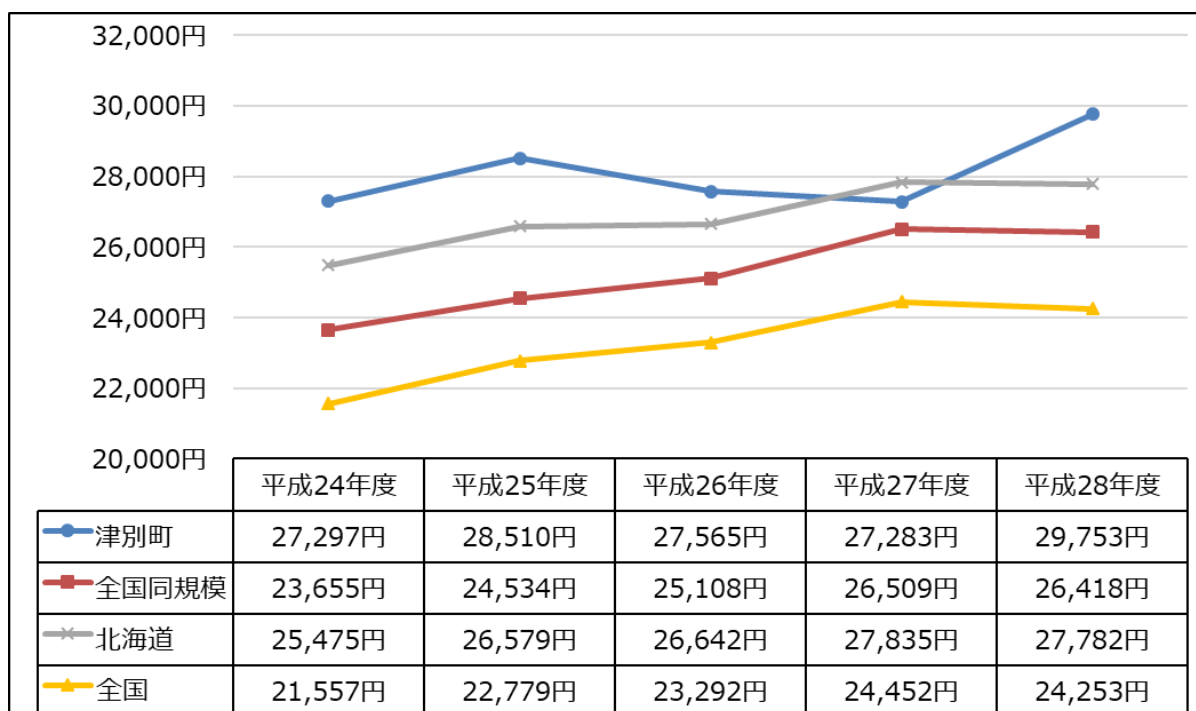
(1) 医療環境の状況(平成28年度 人口千人当たり)

項目	津別町	全国同規模	北海道	全国
病院数	0.6	0.3	0.4	0.3
診療所数	0.6	2.2	2.6	3.0
病床数	52.5	31.3	73.6	46.8
医師数	2.3	3.2	9.9	9.2
外来患者数	670.8	658.5	646.1	668.3
入院患者数	21.5	22.6	22.9	18.2
合計患者数	692.3	681.1	669.0	686.5

出典:KDBシステム「地域の全体像の把握」

医療環境の状況を見ると、全国平均と比較して医師数がかかなり少なく、外来患者数が全国平均値を大きく下回っています。

(2) 被保険者一人あたり医療費(平成24年度～平成28年度)



出典:KDBシステム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

被保険者一人あたり医療費の推移をみると、過去5年間にわたり津別町は全国平均を上回って推移しています。平成25年度から平成27年度にかけては減少が見られましたが、平成27年度から平成28年度にかけては+9.1%と増加しています。

(3) 診療費の状況(平成28年度)

	受診率 (レセプト÷被保険者数)			1件当たり日数(日) (レセプト診療日数÷レセプト総件数)			1件当たり診療費(円) (レセプト総点数÷被保険者数×10)		
	外来	入院	歯科	外来	入院	歯科	外来	入院	歯科
津別町	670.8	21.5	131.1	1.4	13.9	2.0	27,270	533,630	15,430
全国同規模	658.5	22.6	126.4	1.5	16.3	2.0	22,690	506,430	13,940
北海道	646.1	22.9	123.7	1.5	15.8	2.1	23,750	543,800	15,780
全国	668.3	18.2	145.3	1.6	15.6	1.9	21,820	531,780	12,980

出典:KDBシステム「地域の全体像の把握」

診療費の状況の受診率を見ると、外来受診率と入院受診率が全国平均を上回っている一方で、歯科受診率は全国平均を下回っています。

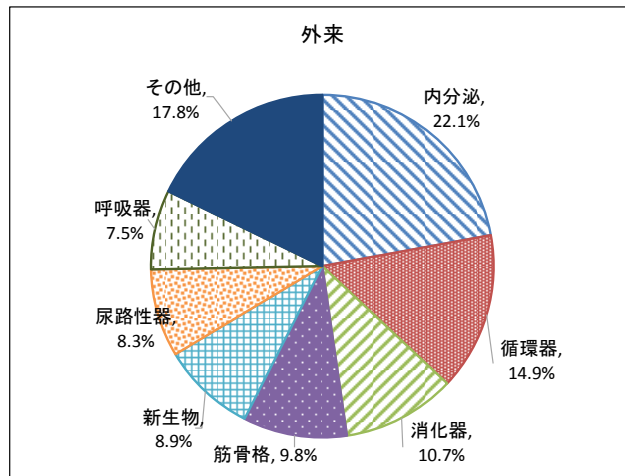
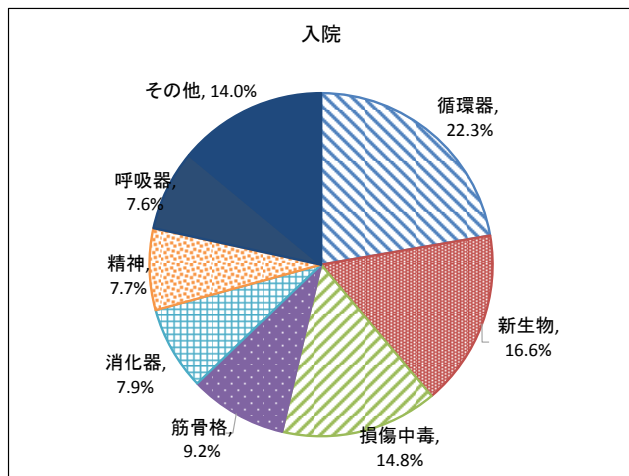
1件当たり日数を見ると、外来・入院は全国平均を下回っています。

また、1件当たり診療費では外来・入院・歯科全てにおいて全国平均を上回っており、このことが医療費の増大につながる要因と考えられます。比較的症状が進んでから診療を受けていることが予想され、疾病の予防、早期発見、重症化予防の取り組みを通じて医療費の抑制に努めていくことが重要です。

4 レセプト分析による疾病構造の把握

(1) 医療費からみた疾病構造(平成28年度)

① 疾病大分類別医療費割合



出典:KDBシステム「医療費分析(2)大、中、最小分類」

② 最小分類医療費割合上位10位

順位	疾病名	割合	生活習慣病
1位	高血圧症	5.0%	○
2位	関節疾患	4.3%	
3位	糖尿病	4.3%	○
4位	脂質異常症	3.4%	○
5位	統合失調症	2.8%	
6位	慢性腎不全(透析あり)	2.8%	○
7位	骨折	2.6%	
8位	乳がん	2.5%	
9位	心臓弁膜症	1.9%	
10位	クローン病	1.8%	

出典:KDBシステム「医療費分析(2)大、中、細小分類」

最小分類医療費割合上位10位を見ると、高血圧症が最も多く、次いで関節疾患、糖尿病、脂質異常症、統合失調症と続いています。上位10位のうち4つを生活習慣病に関連する疾病が占めており、医療費増大の一因となっていると考えられます。

生活習慣病に関連する疾病は特定健診や特定保健指導等を通じて、疾病の予防・早期発見・重症化予防の取り組みによって、ある程度防ぐことができると考えられており、改善に向けて更なる取り組みが必要です。

(2) 疾病別詳細分析(生活習慣病・平成28年度)

① 高血圧症【医療費 第1位】

【男性】

男性・入院	総点数				千人当たりレセプト件数				レセプト1件当たり点数			
	津別町	同規模	北海道	全国	津別町	同規模	北海道	全国	津別町	同規模	北海道	全国
0-14歳	0	0	0	0	0.000	0.000	0.000	0.000	0	0	0	0
15-39歳	0	785	3,110	7,416	0.000	0.039	0.015	0.014	0	9,346	25,868	23,994
40-44歳	0	1,045	2,166	7,240	0.000	0.064	0.059	0.051	0	24,877	15,243	21,283
45-49歳	0	2,168	6,676	13,049	0.000	0.092	0.090	0.079	0	34,403	31,325	24,667
50-54歳	0	2,781	6,854	15,503	0.000	0.179	0.149	0.119	0	21,349	20,563	22,541
55-59歳	0	4,431	9,409	24,550	0.000	0.211	0.160	0.180	0	21,523	23,588	22,552
60-64歳	0	6,890	27,080	52,595	0.000	0.228	0.263	0.216	0	17,082	23,598	24,099
65-69歳	0	20,993	72,750	128,378	0.000	0.322	0.312	0.251	0	22,206	27,621	25,174
70-74歳	0	16,683	67,023	138,299	0.000	0.404	0.352	0.316	0	20,258	26,772	26,759
合計	0	55,777	195,068	387,030	0.000	0.209	0.185	0.150	0	20,677	26,019	25,124

男性・外来	総点数				千人当たりレセプト件数				レセプト1件当たり点数			
	津別町	同規模	北海道	全国	津別町	同規模	北海道	全国	津別町	同規模	北海道	全国
0-14歳	0	0	0	0	0.000	0.000	0.000	0.000	0	0	0	0
15-39歳	12,939	13,689	47,436	103,529	3.993	4.140	3.674	3.113	1,848	1,528	1,630	1,513
40-44歳	22,896	21,212	64,542	183,223	13.746	22.116	15.985	18.370	2,862	1,454	1,670	1,481
45-49歳	26,039	38,288	120,625	343,155	12.024	36.845	28.909	34.143	4,340	1,523	1,762	1,495
50-54歳	66,103	64,701	164,141	483,075	44.643	59.703	43.921	56.913	2,644	1,486	1,668	1,471
55-59歳	110,628	124,966	274,157	745,581	80.979	87.639	65.722	85.257	2,573	1,460	1,675	1,446
60-64歳	287,856	310,097	679,171	1,713,730	128.906	123.942	96.629	119.191	1,745	1,412	1,611	1,420
65-69歳	613,997	657,048	1,712,019	4,399,441	132.482	156.407	126.481	152.833	2,040	1,431	1,606	1,415
70-74歳	443,981	545,498	1,774,818	4,115,917	150.668	172.450	146.746	168.007	1,790	1,550	1,698	1,498
合計	1,584,439	1,775,499	4,836,908	12,087,650	80.372	93.521	72.357	81.146	1,973	1,469	1,650	1,451

【女性】

女性・入院	総点数				千人当たりレセプト件数				レセプト1件当たり点数			
	津別町	同規模	北海道	全国	津別町	同規模	北海道	全国	津別町	同規模	北海道	全国
0-14歳	0	0	0	0	0.000	0.000	0.000	0.000	0	0	0	0
15-39歳	0	317	1,948	6,529	0.000	0.016	0.012	0.013	0	10,765	20,975	25,212
40-44歳	0	238	1,199	3,974	0.000	0.025	0.036	0.029	0	18,844	14,626	23,919
45-49歳	0	487	3,799	6,578	0.000	0.070	0.062	0.043	0	12,867	26,740	26,369
50-54歳	0	668	3,294	8,900	0.000	0.104	0.078	0.064	0	10,601	17,728	25,960
55-59歳	0	1,763	6,686	14,652	0.000	0.088	0.081	0.088	0	22,089	27,188	25,208
60-64歳	0	5,666	14,548	32,661	0.000	0.122	0.105	0.100	0	24,973	22,562	25,802
65-69歳	0	11,827	47,779	82,594	0.000	0.173	0.157	0.136	0	23,263	27,669	26,074
70-74歳	6,733	13,494	64,639	113,070	0.417	0.279	0.263	0.224	6,733	20,327	25,659	25,916
合計	6,733	34,459	143,891	268,958	0.097	0.130	0.119	0.096	6,733	21,247	25,516	25,874

女性・外来	総点数				千人当たりレセプト件数				レセプト1件当たり点数			
	津別町	同規模	北海道	全国	津別町	同規模	北海道	全国	津別町	同規模	北海道	全国
0-14歳	0	0	0	0	0.000	0.000	0.000	0.000	0	0	0	0
15-39歳	20,463	5,421	19,802	41,891	12.598	2.310	1.793	1.524	1,279	1,284	1,433	1,337
40-44歳	3,843	10,602	36,351	81,366	4.310	15.058	11.325	10.655	1,922	1,383	1,422	1,325
45-49歳	23,929	22,801	75,178	181,715	58.824	31.612	22.621	23.405	957	1,341	1,440	1,329
50-54歳	8,948	42,572	138,951	320,596	20.408	52.027	40.151	44.659	994	1,344	1,447	1,333
55-59歳	59,574	95,426	276,754	605,987	49.924	76.794	61.233	69.271	1,805	1,370	1,485	1,319
60-64歳	215,142	266,250	765,315	1,610,032	76.139	106.694	83.936	96.035	1,694	1,347	1,485	1,318
65-69歳	568,145	581,872	1,915,350	4,085,164	123.037	138.335	115.530	130.031	2,015	1,427	1,512	1,351
70-74歳	545,356	613,757	2,248,906	4,582,102	114.357	164.952	141.928	158.475	1,990	1,566	1,656	1,482
合計	1,445,400	1,638,701	5,476,606	11,508,853	74.476	90.251	74.131	76.671	1,882	1,453	1,559	1,393

出典:KDBシステム「疾病別医療費分析(細小(82)分類)」

医療費割合1位の高血圧症を見ると、入院よりも外来が多くなっており、男女関わらず医療費がかかっていることが見てとれます。外来のレセプト1件当たり点数が男女ともに全国平均を上回っており、医療費増大につながっています。

② 糖尿病【医療費 第3位】

【男性】

男性・入院	総点数				千人当たりレセプト件数				レセプト1件当たり点数			
	津別町	同規模	北海道	全国	津別町	同規模	北海道	全国	津別町	同規模	北海道	全国
0-14歳	0	0	0	0	0.000	0.000	0.000	0.000	0	0	0	0
15-39歳	0	9,266	36,200	63,234	0.000	0.115	0.120	0.078	0	37,377	38,073	36,833
40-44歳	0	6,905	32,419	61,934	0.000	0.229	0.271	0.236	0	45,649	49,439	38,922
45-49歳	0	10,849	39,923	84,673	0.000	0.412	0.404	0.315	0	38,537	41,748	39,916
50-54歳	0	9,542	52,701	100,625	0.000	0.409	0.571	0.448	0	31,986	41,215	38,896
55-59歳	1,050	24,606	56,125	121,956	1.883	0.684	0.606	0.535	1,050	36,832	37,213	37,696
60-64歳	0	36,545	109,568	216,394	0.000	0.610	0.656	0.588	0	33,843	38,265	36,379
65-69歳	71,628	52,720	182,228	425,950	0.440	0.570	0.631	0.594	71,628	31,526	34,273	35,214
70-74歳	0	49,641	178,020	405,242	0.000	0.754	0.717	0.708	0	32,280	34,842	34,980
合計	72,678	200,074	687,184	1,480,008	0.200	0.459	0.460	0.389	36,339	33,700	36,867	36,203

男性・外来	総点数				千人当たりレセプト件数				レセプト1件当たり点数			
	津別町	同規模	北海道	全国	津別町	同規模	北海道	全国	津別町	同規模	北海道	全国
0-14歳	0	0	0	0	0.000	0.000	0.000	0.000	0	0	0	0
15-39歳	23,678	36,832	139,792	257,117	5.705	5.824	5.607	4.102	2,368	2,923	3,148	2,851
40-44歳	41,150	41,115	145,755	329,408	30.928	19.453	18.526	16.392	2,286	3,205	3,255	2,984
45-49歳	18,005	67,666	226,802	549,520	20.040	30.621	28.098	26.854	1,801	3,238	3,409	3,043
50-54歳	109,879	97,151	315,165	714,460	57.143	43.592	41.188	40.856	3,434	3,055	3,415	3,031
55-59歳	169,199	162,918	432,967	1,003,764	116.761	55.832	52.122	55.254	2,729	2,987	3,336	3,005
60-64歳	246,195	378,529	1,006,067	2,188,483	61.719	73.987	70.414	74.991	3,116	2,888	3,274	2,883
65-69歳	393,297	738,407	2,207,831	5,229,142	56.778	88.231	85.577	82.481	3,049	2,851	3,060	2,779
70-74歳	317,647	605,287	2,111,909	4,883,243	50.425	102.341	94.954	104.858	3,827	2,899	3,122	2,848
合計	1,319,050	2,127,907	6,586,288	15,155,303	42.338	56.616	51.410	51.698	3,118	2,909	3,162	2,856

【女性】

女性・入院	総点数				千人当たりレセプト件数				レセプト1件当たり点数			
	津別町	同規模	北海道	全国	津別町	同規模	北海道	全国	津別町	同規模	北海道	全国
0-14歳	0	0	0	0	0.000	0.000	0.000	0.000	0	0	0	0
15-39歳	0	5,625	12,774	40,887	0.000	0.094	0.052	0.056	0	32,650	32,022	35,823
40-44歳	0	3,252	12,634	26,959	0.000	0.140	0.128	0.116	0	45,523	43,623	40,247
45-49歳	0	5,018	14,537	31,907	0.000	0.273	0.159	0.139	0	34,126	39,706	39,283
50-54歳	0	5,728	14,588	40,652	0.000	0.262	0.165	0.192	0	35,877	37,077	39,405
55-59歳	0	11,156	34,595	63,282	0.000	0.371	0.294	0.239	0	33,188	38,603	39,901
60-64歳	0	18,763	75,845	130,388	0.000	0.320	0.303	0.273	0	31,671	40,822	37,502
65-69歳	0	31,544	123,655	250,421	0.000	0.326	0.296	0.299	0	32,783	38,096	36,076
70-74歳	0	31,937	133,052	272,818	0.000	0.426	0.387	0.396	0	31,539	35,965	35,347
合計	0	113,022	421,679	857,314	0.276	0.235	0.217	0.000	0	32,724	37,827	36,672

女性・外来	総点数				千人当たりレセプト件数				レセプト1件当たり点数			
	津別町	同規模	北海道	全国	津別町	同規模	北海道	全国	津別町	同規模	北海道	全国
0-14歳	0	0	0	0	0.000	0.000	0.000	0.000	0	0	0	0
15-39歳	2,837	4,066	19,881	46,045	0.787	4.048	3.751	2.968	463	3,128	3,104	3,058
40-44歳	957	5,504	22,380	57,163	17.241	12.045	10.257	8.984	2,509	3,336	3,240	3,108
45-49歳	39,782	33,346	115,946	247,806	28.235	18.846	15.056	13.447	33,315	3,290	3,336	3,154
50-54歳	98,941	55,477	164,665	353,937	38.549	29.250	20.879	21.126	5,820	3,115	3,298	3,110
55-59歳	96,001	111,019	320,913	642,710	45.386	40.764	32.873	32.500	3,200	3,003	3,208	2,982
60-64歳	242,500	269,626	803,063	1,626,426	51.559	51.421	42.221	45.202	2,820	2,830	3,098	2,830
65-69歳	320,360	515,271	1,727,682	3,705,389	45.812	62.378	52.151	58.012	3,051	2,803	3,021	2,747
70-74歳	366,192	489,645	1,838,905	3,840,859	48.414	71.309	61.191	69.425	3,157	2,890	3,141	2,836
合計	1,184,310	1,517,986	5,135,866	10,764,712	36.365	42.182	34.878	35.237	3,158	2,880	3,107	2,834

出典：KDBシステム「疾病別医療費分析（細小(82)分類)」

医療費割合3位の糖尿病をみると、高血圧症と同様に男女ともに外来の医療費が大きくなっています。男女ともに、外来の1レセプト当たり点数は全国平均を上回っており、医療費の増大の要因となっています。また、ほぼ全世代においてレセプトが確認されています。

③ 脂質異常症【医療費 第4位】

【男性】

男性・入院	総点数				千人当たりレセプト件数				レセプト1件当たり点数			
	津別町	同規模	北海道	全国	津別町	同規模	北海道	全国	津別町	同規模	北海道	全国
0-14歳	0	0	0	0	0.000	0.000	0.000	0.000	0	0	0	0
15-39歳	0	253	2,192	1,935	0.000	0.012	0.014	0.004	0	10,032	19,100	21,081
40-44歳	0	1,025	3,726	2,677	0.000	0.045	0.047	0.014	0	34,863	32,472	27,435
45-49歳	0	81	2,220	3,082	0.000	0.012	0.025	0.020	0	9,653	36,927	22,918
50-54歳	0	424	4,668	3,814	0.000	0.029	0.044	0.031	0	20,206	47,457	21,394
55-59歳	0	1,037	1,733	5,656	0.000	0.030	0.046	0.037	0	35,250	15,101	25,174
60-64歳	0	1,618	3,924	11,448	0.000	0.047	0.048	0.047	0	19,250	18,895	24,143
65-69歳	0	3,037	8,558	27,205	0.000	0.049	0.049	0.051	0	21,261	20,608	25,973
70-74歳	0	2,177	10,978	31,164	0.000	0.066	0.061	0.068	0	16,192	25,112	27,924
合計	0	9,653	37,998	86,981	0.000	0.039	0.039	0.033	0	20,331	24,314	25,853

男性・外来	総点数				千人当たりレセプト件数				レセプト1件当たり点数			
	津別町	同規模	北海道	全国	津別町	同規模	北海道	全国	津別町	同規模	北海道	全国
0-14歳	0	0	0	0	0.000	0.000	0.000	0.000	0	0	0	0
15-39歳	2,036	12,195	43,851	88,136	0.570	3.494	3.258	2.533	2,036	1,613	1,699	1,583
40-44歳	12,975	15,047	51,209	126,945	5.155	13.572	11.875	11.475	4,325	1,681	1,784	1,643
45-49歳	57,866	23,773	80,237	207,356	36.072	20.241	17.945	18.082	3,215	1,705	1,889	1,705
50-54歳	32,317	32,775	105,605	270,468	25.000	24.538	24.203	26.640	2,308	1,831	1,947	1,760
55-59歳	20,943	53,970	140,576	361,068	18.832	31.665	28.738	33.839	2,094	1,745	1,964	1,765
60-64歳	232,620	126,121	323,056	767,803	83.594	40.860	37.791	44.335	2,174	1,742	1,959	1,711
65-69歳	323,610	249,462	721,004	1,893,629	58.539	50.116	45.138	55.561	2,433	1,695	1,895	1,675
70-74歳	151,716	203,120	708,679	1,794,902	40.097	55.403	50.042	62.516	2,299	1,797	1,988	1,756
合計	834,083	716,462	2,174,217	5,510,308	35.232	31.862	27.760	31.136	2,370	1,740	1,933	1,714

【女性】

女性・入院	総点数				千人当たりレセプト件数				レセプト1件当たり点数			
	津別町	同規模	北海道	全国	津別町	同規模	北海道	全国	津別町	同規模	北海道	全国
0-14歳	0	0	0	0	0.000	0.000	0.000	0.000	0	0	0	0
15-39歳	0	40	179	1,657	0.000	0.002	0.004	0.002	0	9,549	6,562	32,396
40-44歳	0	85	485	1,015	0.000	0.017	0.010	0.007	0	10,075	22,186	26,361
45-49歳	0	115	357	1,538	0.000	0.008	0.009	0.010	0	27,367	16,321	25,810
50-54歳	0	257	524	2,929	0.000	0.090	0.014	0.020	0	4,702	15,984	27,495
55-59歳	0	1,178	4,449	4,370	0.000	0.042	0.045	0.025	0	31,143	32,566	25,974
60-64歳	0	4,637	6,050	9,660	0.000	0.057	0.042	0.032	0	44,145	23,557	24,005
65-69歳	0	5,587	11,938	23,839	0.000	0.070	0.041	0.041	0	27,139	26,322	24,726
70-74歳	0	3,436	12,905	27,925	0.000	0.065	0.063	0.056	0	22,099	21,469	25,467
合計	0	15,334	36,887	72,934	0.000	0.046	0.033	0.027	0	26,639	23,769	25,262

女性・外来	総点数				千人当たりレセプト件数				レセプト1件当たり点数			
	津別町	同規模	北海道	全国	津別町	同規模	北海道	全国	津別町	同規模	北海道	全国
0-14歳	0	0	0	0	0.000	0.000	0.000	0.000	0	0	0	0
15-39歳	2,837	4,066	19,881	46,045	1.575	1.614	1.663	1.456	1,419	1,379	1,551	1,539
40-44歳	957	5,504	22,380	57,163	2.155	7.216	6.199	6.349	957	1,499	1,600	1,562
45-49歳	0	10,958	46,480	108,797	0.000	13.447	12.133	12.017	0	1,515	1,659	1,549
50-54歳	18,608	91,768	25,226	212,222	34.014	28.815	24.222	26.446	1,241	1,438	1,584	1,490
55-59歳	37,027	68,368	205,824	482,212	34.796	52.875	43.994	51.536	1,610	1,426	1,537	1,411
60-64歳	239,204	213,855	626,423	1,429,520	70.743	83.383	67.151	82.423	2,027	1,384	1,519	1,364
65-69歳	432,627	434,668	1,449,833	3,453,539	95.113	103.423	86.175	107.344	1,985	1,426	1,534	1,384
70-74歳	505,453	415,555	1,534,630	3,588,640	91.820	122.377	96.019	121.666	2,298	1,556	1,671	1,512
合計	1,236,713	1,178,199	3,997,219	9,378,136	57.894	64.487	53.215	60.650	2,072	1,462	1,585	1,434

出典：KDBシステム「疾病別医療費分析（細小(82)分類)」

脂質異常症の医療費を見ると、男女ともに外来のレセプトがほとんどを占めています。千人当たりレセプト件数及び1レセプト当たり点数はともに全国平均を上回っています。また、幅広い世代においてレセプトが発生しています。

④ 慢性腎不全(透析あり)【医療費 第6位】

【男性】

男性・入院	総点数				千人当たりレセプト件数				レセプト1件当たり点数			
	津別町	同規模	北海道	全国	津別町	同規模	北海道	全国	津別町	同規模	北海道	全国
0-14歳	0	0	0	0	0.000	0.000	0.000	0.000	0	0	0	0
15-39歳	0	7,859	23,619	46,563	0.000	0.058	0.047	0.031	0	62,345	63,563	69,351
40-44歳	0	14,830	44,857	81,022	0.000	0.287	0.206	0.170	0	78,437	90,206	70,889
45-49歳	0	20,443	84,361	146,873	0.000	0.474	0.508	0.314	0	63,186	70,173	69,565
50-54歳	0	30,837	141,775	231,618	0.000	0.685	0.819	0.562	0	61,674	77,217	71,429
55-59歳	164,451	63,977	237,580	376,180	7.533	0.942	1.310	0.865	41,113	69,527	72,826	71,928
60-64歳	54,860	141,761	534,661	750,057	1.563	1.148	1.580	1.025	27,430	69,709	77,530	72,298
65-69歳	0	95,961	84,945	879,626	0.000	0.477	0.139	0.596	0	68,585	72,640	72,512
70-74歳	0	70,764	151,126	832,397	0.000	0.511	0.272	0.703	0	67,910	78,124	72,389
合計	219,311	446,431	1,302,924	3,344,334	0.601	0.506	0.424	0.452	36,552	68,328	75,886	72,072

男性・外来	総点数				千人当たりレセプト件数				レセプト1件当たり点数			
	津別町	同規模	北海道	全国	津別町	同規模	北海道	全国	津別町	同規模	北海道	全国
0-14歳	0	0	0	0	0.000	0.000	0.000	0.000	0	0	0	0
15-39歳	0	57,929	256,034	430,428	0.000	0.672	0.763	0.468	0	39,847	42,364	41,795
40-44歳	0	74,455	341,249	642,999	0.000	2.714	3.316	2.259	0	41,597	42,569	42,272
45-49歳	0	124,407	505,210	1,084,869	0.000	4.340	5.043	3.824	0	41,998	42,313	42,184
50-54歳	0	179,016	743,200	1,410,573	0.000	5.846	7.717	5.793	0	41,976	42,985	42,200
55-59歳	428,458	290,027	966,047	1,873,341	20.716	7.197	9.174	7.400	38,951	41,259	42,283	41,868
60-64歳	492,334	542,221	1,606,770	3,380,801	10.938	7.570	8.870	8.096	35,167	40,429	41,507	41,251
65-69歳	0	388,481	153,788	3,566,178	0.000	3.274	0.512	4.323	0	40,410	35,624	40,540
70-74歳	0	248,164	209,080	2,713,826	0.000	0.312	0.801	4.206	0	38,985	36,649	39,450
合計	920,792	1,904,700	4,781,377	15,103,015	2.502	3.629	2.835	3.586	36,832	40,620	41,625	41,028

【女性】

女性・入院	総点数				千人当たりレセプト件数				レセプト1件当たり点数			
	津別町	同規模	北海道	全国	津別町	同規模	北海道	全国	津別町	同規模	北海道	全国
0-14歳	0	0	0	0	0.000	0.000	0.000	0.000	0	0	0	0
15-39歳	0	1,176	12,746	27,369	0.000	0.016	0.033	0.019	0	39,969	50,708	71,279
40-44歳	0	4,816	23,646	33,217	0.000	0.173	0.145	0.086	0	54,586	72,120	66,646
45-49歳	0	6,534	53,509	59,737	0.000	0.227	0.294	0.148	0	53,627	78,969	68,852
50-54歳	0	11,743	47,244	91,856	0.000	0.331	0.290	0.239	0	58,226	68,076	71,377
55-59歳	0	28,166	76,862	150,217	0.000	0.477	0.368	0.325	0	65,083	68,614	69,619
60-64歳	0	68,249	224,822	329,709	0.000	0.515	0.485	0.363	0	71,556	75,491	71,468
65-69歳	0	51,880	54,921	483,741	0.000	0.262	0.060	0.289	0	67,105	83,755	71,975
70-74歳	0	38,450	57,765	479,074	0.000	0.251	0.073	0.338	0	64,444	83,236	72,654
合計	0	211,014	551,516	1,654,920	0.000	0.256	0.156	0.215	0	65,994	74,540	71,571

女性・外来	総点数				千人当たりレセプト件数				レセプト1件当たり点数			
	津別町	同規模	北海道	全国	津別町	同規模	北海道	全国	津別町	同規模	北海道	全国
0-14歳	0	0	0	0	0.000	0.000	0.000	0.000	0	0	0	0
15-39歳	0	17,366	72,729	183,134	0.000	0.237	0.228	0.220	0	40,126	41,333	40,511
40-44歳	0	37,717	144,537	267,820	0.000	1.833	1.564	1.119	0	40,435	40,945	41,510
45-49歳	538,791	62,951	181,095	401,629	28.235	2.883	1.851	1.653	44,899	40,603	42,379	41,582
50-54歳	0	86,612	292,042	523,682	0.000	3.450	2.911	2.345	0	41,228	41,949	41,466
55-59歳	0	12,302	401,644	850,386	0.000	3.303	3.191	3.087	0	41,492	41,362	41,546
60-64歳	0	254,150	891,517	1,725,079	0.000	3.330	3.440	3.286	0	41,204	42,212	41,280
65-69歳	0	212,088	75,564	1,986,332	0.000	1.761	0.189	2.093	0	40,872	36,390	40,828
70-74歳	0	109,905	98,358	1,511,792	0.000	1.171	0.271	1.933	0	39,513	37,894	40,089
合計	538,791	905,090	2,157,486	7,449,855	1.164	1.773	1.098	1.687	44,899	40,860	41,468	40,960

出典:KDBシステム「疾病別医療費分析(細小(82)分類)」

慢性腎不全(透析あり)のレセプトを見ると、男女ともに特定の世代にレセプトが集中しています。慢性腎不全(透析あり)は高額医療費に繋がりがやすい疾病と考えられており、また重症化すると将来にわたって継続的に治療を要することから、疾病の早期発見・早期治療による重症化予防が重要な疾病といえます。

(3) 高額医療費分析(平成28年度)

① 高額医療(1レセプト30万円以上)

患者千人当たり30万円以上レセプト患者数(人)		津別町	全国 同規模	北海道	全国
1	高血圧症	17.9	15.6	15.7	13.7
2	がん	10.2	10.1	12.5	9.5
3	脂質異常症	6.8	8.0	8.8	7.3
4	高尿酸血症	5.3	3.9	4.0	3.4
5	人工透析	4.9	5.9	4.3	5.9
6	脳梗塞	4.3	3.6	3.6	3.2
7	糖尿病	3.6	10.4	11.3	9.3
8	狭心症	3.5	4.4	5.0	4.1
9	脂肪肝	1.4	0.6	0.2	0.4
10	動脈硬化	0.9	2.3	2.1	2.4
11	脳出血	0.9	1.1	1.1	1.0
12	心筋梗塞	0.0	0.4	0.4	0.4

出典:KDBシステム「医療費分析(1)細小分類」

算出式:30万円以上のレセプトに「各疾病名」の記載のある患者数÷患者数(入院・外来レセプトが存在し、DPC または医科に紐づく個人を集計したもの)×1000

患者千人あたり30万円以上レセプト患者数をみると、全国平均を上回っている疾病が「高血圧症」「がん」「高尿酸血症」「脂肪肝」となっており、その他の疾病については全国平均を下回っています。

② 長期入院(6か月以上)

6か月以上入院レセプト	津別町	全国 同規模	北海道	全国
1件当たり6か月以上入院レセプト点数	54,991	43,090	46,229	43,990
千人当たり6か月以上入院レセプト数	3.399	5.683	5.154	4.060
患者千人当たり6か月以上入院患者数	169.533	261.215	233.668	231.816

出典:KDBシステム「医療費分析(1)細小分類」

6か月以上入院レセプトをみると、「1件当たり6か月以上入院レセプト点数」「患者千人当たり6か月以上入院患者数」は全国平均を上回っていますが、千人当たり6か月以上入院レセプト数については、全国平均を大きく下回っています。

5 介護との関連

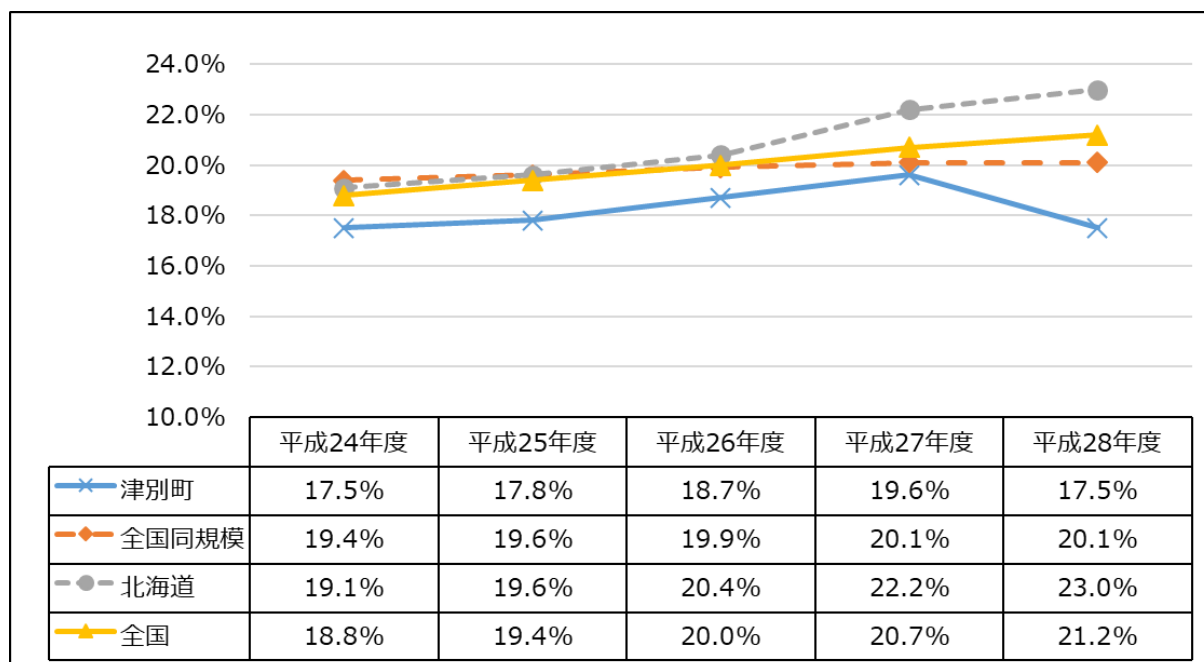
介護データについては、津別町国保被保険者以外を含めた町内全体の介護データ(国保連合会を通っているデータに限る)です。

(1) 要介護認定状況(平成28年度)

	津別町		全国同規模	北海道	全国
	認定者数	認定率	認定率	認定率	認定率
1号認定者数(認定率)	358	17.5%	20.1%	23.0%	21.2%
新規認定者	9	0.3%	0.3%	0.4%	0.3%
2号認定者数(認定率)	6	0.3%	0.4%	0.4%	0.4%

出典:KDBシステム「地域の全体像の把握」「要介護(支援)者認定状況」

(2) 要介護認定率の推移(平成25年度～平成28年度)



出典:KDBシステム「地域の全体像の把握」

(3) 介護給付費の状況(平成28年度)

	津別町	全国同規模	北海道	全国
1件当たり給付費	72,028円	70,598円	57,953円	58,349円
居宅サービス	45,848円	40,986円	38,810円	39,688円
施設サービス	268,838円	275,281円	283,015円	281,115円

出典:KDBシステム「地域の全体像の把握」

算出式:介護給付費の合算÷介護レセプト件数

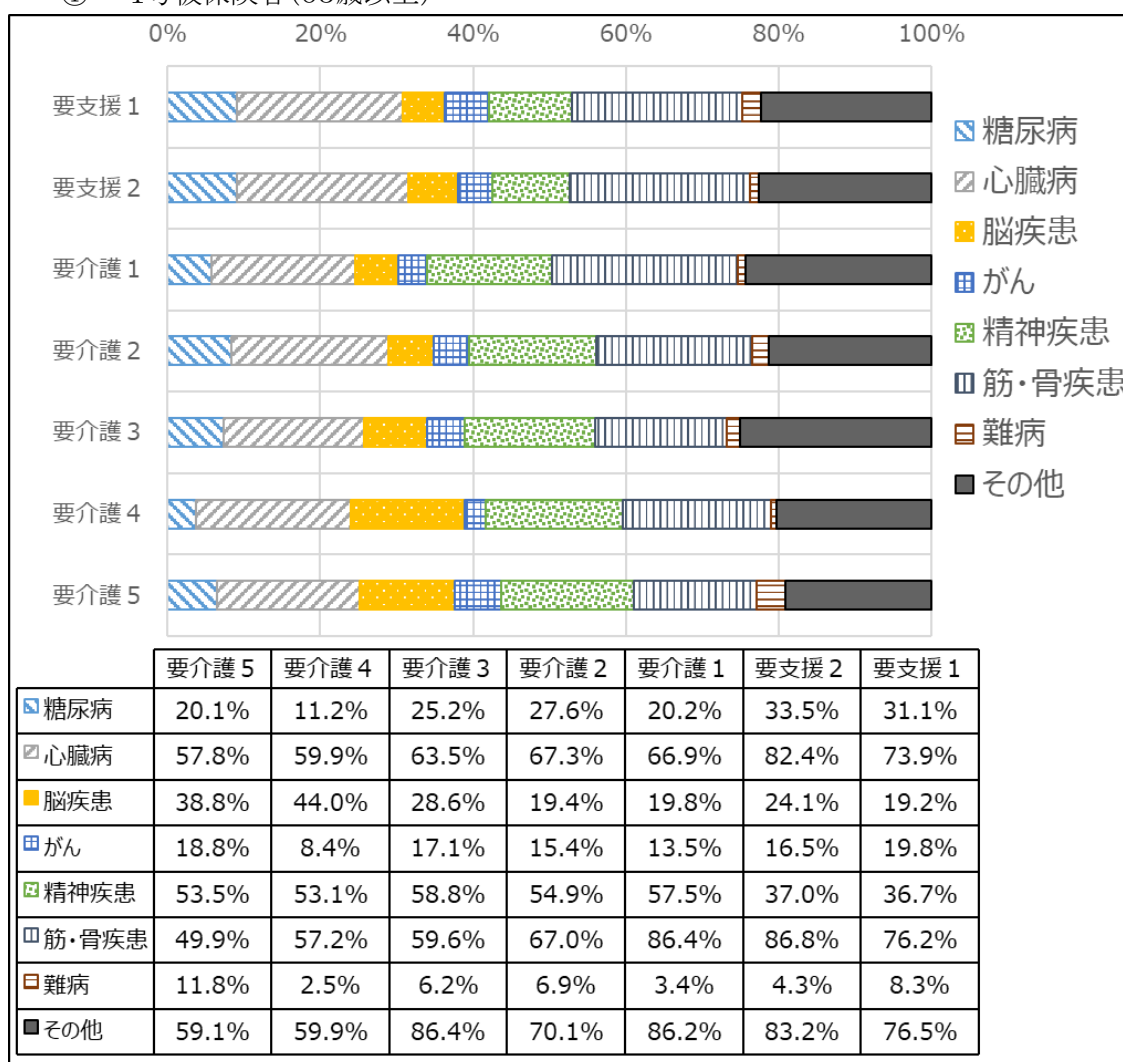
要介護認定率の推移をみると、常に全国平均よりも認定率が低い状態が維持されており、元気な高齢者が多い状況であると言えます。津別町では、平成28年4月より新しい介護予防・日常生活支援総合事業を開始し、要支援認定を受けずとも通所型と訪問型のサービスを受けることができることとなったことから大きく認定率も下がり、平成24年度から平成27年度までは上昇傾向となっていました。平成28年度

では認定率が17.5%に下がり、全国平均の21.2%を大きく下回る結果となりました。今後については、後期高齢者数の割合も高くなっていくことから、認定率の伸びが予想されており、それらに対応していく必要があります。

介護給付費の状況については、1件当たり給付費が72,028円となっており、全国平均と比較すると13,679円上回っています。

(4) 要介護者有病状況※7(平成28年度)

① 1号被保険者(65歳以上)



出典:KDBシステム「要介護(支援)者有病状況」

1号被保険者の要介護者有病状況を見ると、すべての要支援・要介護度で共通して「心臓病※8」「筋・骨疾患」の割合が多くなっています。また、「糖尿病」についてもすべての要支援・要介護度において一定の割合で存在しています。

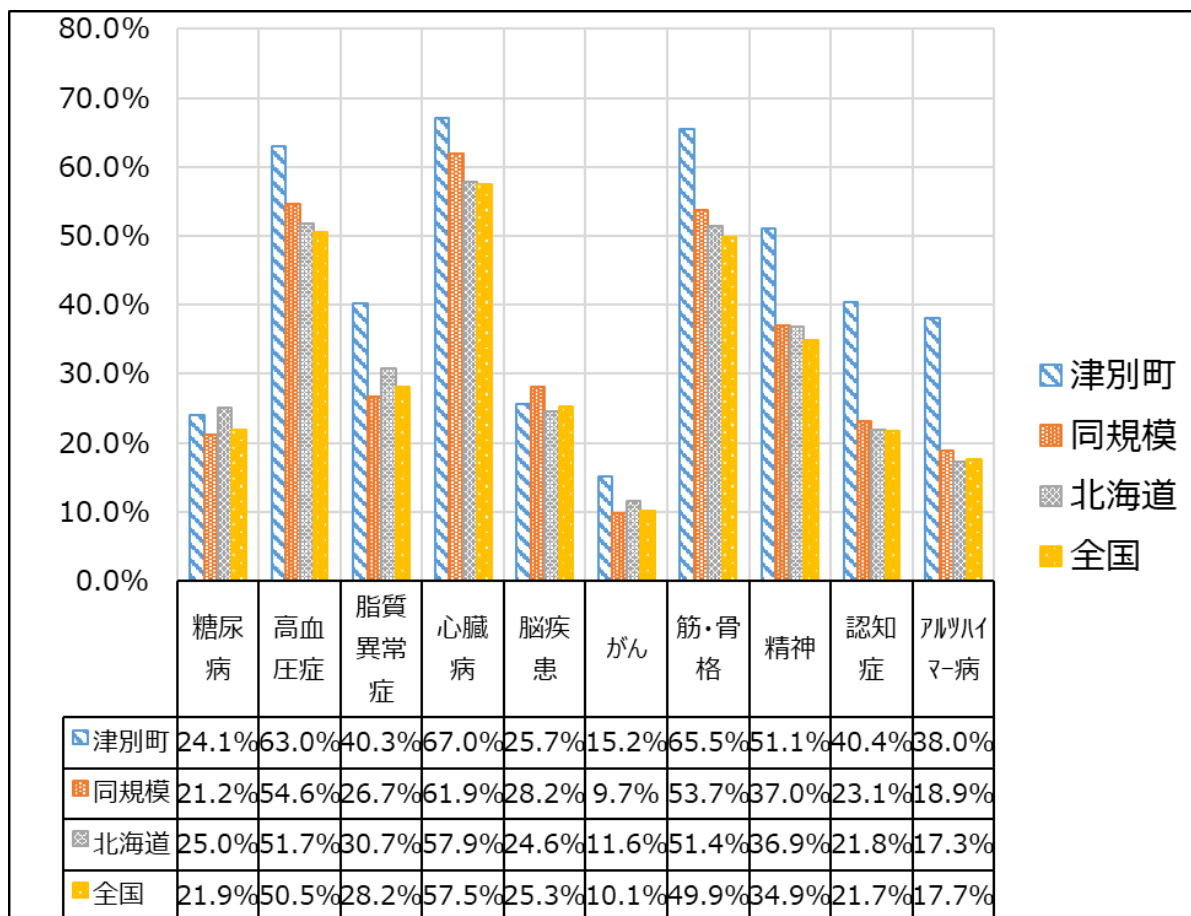
重度認定になるほど「脳疾患」「精神疾患」の割合が多くなり、一方で「筋・骨疾患」の割合が減少する傾向が見られます。

2号被保険者(40歳～64歳)については、対象者が少ないため省略します。

※7 要介護者有病状況…「介護受給者台帳」に登録されている介護保険の被保険者について、レセプト記載傷病による傷病分析の結果に基づき、該当する疾病を有している方の割合を要介護度ごとに算出したものです。

※8 KDBシステムの仕様上、レセプトに「高血圧」の記載がある方は心臓病に分類されています。

(5) 医療・介護の突合(各疾病のレセプトを持つ要介護認定者数／要介護認定者数)



出典:KDBシステム「医療と介護の突合(有病状況)」

算出式:各疾患と判定したレセプトを持つ介護認定者(介護受給者台帳より) ÷ 介護認定者数×100

医療・介護の突合を見ると、いずれの疾患についても概ね全国平均値と同水準か上回っており、特に「精神」「認知症」「アルツハイマー病」の割合が高くなっています。生活習慣病の有病率も総じて高く、医療費及び介護給付費の増大の要因につながっていることが推察されます。

第4章 健康課題の明確化と目的・目標

第4章 健康課題の明確化と目的・目標

1 現状の健康課題と改善に向けた行動目標

「第3章 健康・医療情報の分析と課題抽出」における様々な視点に立った分析結果より、津別町における健康課題と改善に向けた行動目標は下記のとおりです。

分野	健康課題	行動目標
1. 平均寿命・健康寿命と死亡の状況	男女ともに平均寿命と健康寿命の差が全国平均と比較して長い。	
2. 健診データ分析	特定健診受診率が全国平均を下回っており、受診率が低下傾向にある。 喫煙や運動習慣なし、睡眠不足など改善すべき生活習慣が見られる。	○特定健診受診率の更なる向上 ○特定保健指導等を通じた生活習慣の改善
3. 医療費分析	1人当たり診療費が、外来・入院・歯科いずれにおいても全国平均と比較して高い。	○疾病の早期発見・早期治療に向けた人間ドックやがん検診の受診率の向上
4. レセプト分析	医療費上位を占める疾病のうち、生活習慣病に関連する疾病が多い。 生活習慣病の中でも高額医療費につながる「高血圧症」や「糖尿病」が上位を占めている。	○生活習慣病の予防、改善(医療費上位のうち、生活習慣病の割合を低下)
5. 介護と医療の関連	1人当たり介護給付費が全国平均と比較して上回っている。 要介護認定者の状況を見ると「認知症」「筋・骨疾患」が介護の原因の上位を占めている。	○要介護認定者の有病状況の改善によるQOL※1の向上 ○要介護認定者の増加防止に向けた介護予防の更なる充実

※1 QOL…(英語:Quality of Life の略) 医療に使われることが多い言葉で「生活の質」などと訳されます。個々の日常生活を充実させ、人間らしく満足して生活しているかを評価する概念です。

第5章 保健事業の検討と評価指標

第5章 保健事業の検討と評価指標

1 行動目標の達成に向けた対策の方向性

「第4章 健康課題の明確化と行動目標」にて示した健康課題改善に向けた行動目標に対応するため、「第2章第2項これまでの取り組み」で評価した既存の保健事業を見直しながら事業を推進していきます。

2 行動目標に対応した具体的な事業内容

本データヘルス計画の実施期間の、平成30年度から平成35年度までの6年間における、行動目標に対応した具体的な事業内容は下記のとおりです。

(1) 特定健診受診率の更なる向上

保健事業	保健事業の概要と目的	平成30年度	平成31年度～平成35年度
特定健診	生活習慣病の早期発見・早期治療を目的として実施。 受診率の更なる向上を目指す。	対象者を30歳からすることで、疾病の早期発見・早期治療につなげる	継続実施
		集団健診・個別健診の設定	継続実施
		ホームページやQRコード等を活用した申し込みのしやすい環境整備	継続実施
		はがきやチラシ等による啓発活動	継続実施
		みなし健診の強化	継続実施
		未受診者勧奨	継続実施

(2) 特定保健指導等を通じた生活習慣の改善

保健事業	保健事業の概要と目的	平成30年度	平成31年度～平成35年度
特定保健指導	メタボリックシンドロームの減少による生活習慣病リスクの低下を目的として、保健指導を実施。 実施率の向上を目指す。	健診結果相談会にて初回面談を実施	継続実施
		健診結果相談会未参加者への個別アプローチ	継続実施
		継続支援の充実	継続実施

(3) 疾病の早期発見・早期治療に向けた人間ドックやがん検診の受診率の向上

保健事業	保健事業の概要と目的	平成30年度	平成31年度～平成35年度
各種がん検診 ・胃がん検診 ・肺がん検診 ・大腸がん検診 ・前立腺がん検診 ・子宮がん検診 ・乳がん検診	がんの早期発見・早期治療を目的として実施。 実施率の向上を目指す。	集団健診・個別健診の設定	継続実施
		ホームページやQRコード等を活用した申し込みのしやすい環境整備	継続実施
		はがきやチラシ等による啓発活動	継続実施
		未受診者勧奨	継続実施
肝炎ウイルス検査	ウイルス性肝炎を引き起こすB型、C型肝炎ウイルスの感染の有無を検査し、早期発見・早期治療につなげることを目的とする。 実施率の向上を目指す。	受診勧奨通知の内容充実	継続実施
		未受診者勧奨	継続実施
エキノコックス症検査	エキノコックス症感染の有無を検査し、早期発見・早期治療につなげることを目的とする。 実施率の向上を目指す。	受診勧奨通知の内容充実	継続実施
		未受診者勧奨	継続実施

(4) 生活習慣病の予防、改善(医療費上位のうち、生活習慣病の割合を低下)

保健事業	保健事業の概要と目的	平成30年度	平成31年度～平成35年度
総合健康相談	心身の健康に関する個別の相談に応じ、必要な指導及び助言を行う。	総合健康相談を受けやすくするための広報活動	継続実施
健診結果相談会	健診結果説明や保健指導を実施することで、生活習慣病の予防、改善を目指す。	健診結果相談会の実施	継続実施
		健診結果相談会未参加者への個別アプローチ	継続実施
		受診者の結果フォローアップ	継続実施
集団健康教育	健康増進に関する正しい知識を普及し、健康管理の認識を高める。	集団健康教育を随時実施	継続実施
健康運動教室	将来の生活習慣病と介護を予防するための運動や食事について学習する。	対象者に応じた教室の実施	継続実施
		新規参加者を増やすための広報活動	継続実施

(5) 要介護認定者の有病状況の改善によるQOLの向上

保健事業	保健事業の概要と目的	平成30年度	平成31年度～平成35年度
健康教育(高齢者)	高齢期においても自ら健康づくり、介護予防に積極的に取り組むことができるように、知識の普及啓発することを目的とする。	介護予防の重要性について住民に啓蒙し、いきいき百歳体操への取り組みを推進する。また、それ以外にも各種団体からの要望に応じた様々なテーマで実施する。	継続実施
健康相談(高齢者)	心身の健康に関する相談に対応することで、自分や家族の健康管理や介護予防の充実を目指す。	相談できる窓口の周知、相談しやすい体制づくりを行う。	継続実施

(6) 要介護認定者の増加防止に向けた介護予防の更なる充実

保健事業		保健事業の概要と目的	平成30年度	平成31年度～35年度
介護予防把握事業	個別訪問	高齢者について、効果的かつ効率的に収集した情報を活用して、閉じこもり等の何からの支援を要する者を早期に把握し、住民主体の介護予防へつなげることを目的とする。	75、80、85、90歳の相談歴の無い高齢者宅を個別訪問し、健康・生活の様子を把握する。	平成33年まで継続
介護予防普及啓発事業	転倒予防教室	介護予防に資する基本的な知識を住民に普及啓発することを目的とする。	講師の指導による下肢の筋力アップを目指した教室の開催。	継続実施
	介護予防講演会		介護予防に関する内容で、広く町民を対象とした講演会の実施。	継続実施
	ミズナラ倶楽部		送迎付の介護予防教室の実施。今後住民主体の運営に向けて準備検討を行う。	検討中
地域介護予防活動支援事業	ふれあいいきいきサロン事業	高齢者の誰もが一緒に参加できる介護予防活動の地域展開を目指し、介護予防に資する住民主体の通いの場等の活動を地域の実情に応じて効果的かつ効率的に支援することを目的とする。	月1回程度、各自治会単位で住民同士で集まる場の開催を支援する。	継続実施
	介護予防いきいきポイント事業		町内の介護施設、社協や町の福祉事業におけるボランティア活動の推進。	継続実施
	生活支援サポートセンター事業		高齢者が在宅でお互いに自立した生活を営めるように、支えあい活動を推進。	継続実施
	いきいき百歳体操		住民が主体的に集まり、筋力アップを目的とした運動を定期的に行う場を設置する。	継続実施
地域リハビリテーション活動支援事業	リハビリ相談事業	リハビリテーションに関する専門的知識を有する者が、高齢者の有する能力を評価し改善の可能性を助言する。通所、訪問、地域ケア会議、住民主体の通いの場等の介護予防活動の取組を総合的に支援する。	家庭や介護サービス事業所、通いの場においてリハビリ専門職からの助言・相談の場の設置。	継続実施
	地域ケア会議		高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるため、多様な社会資源の総合調整、支援困難事例や地域の課題について検討する。	継続実施
一般介護予防事業評価事業		介護保険事業計画に定める目標値の達成状況を検証を通じ、一般介護予防活動事業を含め、地域づくりの観点から総合事業全体を評価し、その評価結果に基づき事業全体の改善を目的とする。	未実施	事業開始予定

3 数値目標・評価指標

各保健事業の評価項目及び数値目標として掲げるものは下記のとおりです。

健康課題の改善に向けた行動目標の達成状況の評価・見直しについては、後述の「第6章 評価・見直し」をご覧ください。

(1) 特定健診の受診率

区分	実績 (H28年度)	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度	H35年度
受診率	24.1%	35%	40%	45%	50%	55%	60%

(2) 特定保健指導の実施率

区分	実績 (H28年度)	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度	H35年度
実施率	24.3%	35%	40%	45%	50%	55%	60%

第6章 評価・見直し

第6章 評価・見直し

1 評価時期

平成32年度に中間評価、最終年度の平成35年度に最終評価を実施します。また、次期計画の策定を円滑に行うため、平成35年度上半期に最終評価の仮評価を実施予定とします。その他、必要に応じて計画の見直しを行います。

2 評価方法

データヘルス計画に基づく保健事業や各種施策は、第5章で掲げた評価指標に基づいて、KDBシステムに反映される数値目標の達成状況による評価を行います。

また、最終年度の平成35年度には、データヘルス計画全体の評価を実施するとともに、更なる改善に向けた見直しを実施します。

第7章 計画の公表、個人情報の保護

第7章 計画の公表、個人情報の保護

1 計画の公表・周知

策定した計画は、津別町ホームページ等に掲載するなど公表・周知に努めます。

2 個人情報の保護

(1) 個人情報の取扱い及び守秘義務規定の遵守

個人情報の取扱いについては、「個人情報保護法」や「国民健康保険組合における個人情報の適切な取扱いのためのガイドライン」、「津別町個人情報保護条例」や「津別町個人情報保護条例施行規則」等を遵守し、適切に対応します。また、当該情報を取扱う職員に関しても、地方公務員法等の守秘義務規定について周知徹底を図り、個人情報の漏えいや紛失の防止に細心の注意を払います。

(2) KDBシステムの取扱い

保険者は、健康増進法第6条の健康増進事業実施者として、「国民の健康の増進の総合的な推進を図るための基本的な方針」において、特定健診その他の各種検診の実施主体間で個人の健康情報の共有を図るなど、健康増進事業実施者間で連携を図り、質の高い保険サービスを効果的かつ継続的に提供することとされているほか、「地域保健法第四条第一項の規定に基づく地域保健対策の推進に関する基本的な指針」において、関連部門と連携しながら、被保険者の特性に応じた保健事業を効率的かつ効果的に実施することとされています。

KDBシステムにより得られるデータについては、保険者における地域の健康課題の把握や疾病別医療費分析の充実等による被保険者の特性に応じた効果的な保健事業の展開に資するものであり、保健事業にとっても有益な情報であるため、関連部門間の連携を密にして有効に活用すべきであるという国の方針に従い、厳重に個人情報を保護・管理しつつ、保健事業のさらなる推進を図るために有効に活用します。